

修成地区放課後児童クラブ建築工事

図 面 リ ス ト							
意 匠 図				構 造 図		電 気 設 備 図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－０１	建築工事 特記仕様書（１）	A－２１	展開図（２）	S－０１	構造設計特記仕様（１）	E－０１	電気設備工事 特記仕様書（１）
A－０２	建築工事 特記仕様書（２）	A－２２	展開図（３）	S－０２	構造設計特記仕様（２）	E－０２	電気設備工事 特記仕様書（２）
A－０３	建築工事 特記仕様書（３）	A－２３	天井伏図	S－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	E－０３	電気設備工事 特記仕様書（３）
A－０４	建築工事 特記仕様書（４）	A－２４	建具指示図	S－０４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）	E－０４	電気設備配置図
A－０５	建築工事 特記仕様書（５）	A－２５	建具表	S－０５	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）	E－０５	分電盤結線図・機器姿図
A－０６	建築工事 特記仕様書（６）	A－２６	雑詳細図（１）	S－０６	鉄骨構造標準図（１）	E－０６	幹線動力・弱電設備図
A－０７	建築工事 特記仕様書（７）	A－２７	雑詳細図（２）	S－０７	鉄骨構造標準図（２）	E－０７	電灯設備図
A－０８	建築工事 特記仕様書（８）	A－２８	雑詳細図（３）	S－０８	ベースバック柱脚工法設計施工標準図	E－０８	コンセント設備平面図
A－０９	工事区分表	A－２９	現況図・撤去図	S－０９	デッキ合成スラブ設計・施工標準仕様書		
A－１０	敷地案内図・学校用地全体図	A－３０	外構図・外構詳細図	S－１０	土質柱状図		
A－１１	配置図・敷地求積図	A－３１	仮設計画図	S－１１	杭伏図、基礎伏図		
A－１２	面積表・法規チェック図			S－１２	２階伏図、屋根伏図		
A－１３	仕上表			S－１３	軸組図（１）		
A－１４	平面図			S－１４	軸組図（２）		
A－１５	立面図・断面図			S－１５	基礎・柱型リスト、各部配筋詳細図		
A－１６	断面詳細図			S－１６	基礎梁リスト		
A－１７	階段断面詳細図			S－１７	鉄骨部材リスト		
A－１８	１階平面詳細図			S－１８	架構詳細図		
A－１９	２階平面詳細図						
A－２０	展開図（１）						

工事特記仕様書

I. 工 事 名

修成地区放課後児童クラブ建築工事

II. 工事概要

1. 工事場所

津市修成町 地内

2. 敷地面積

307.22 m²

3. 工事内容

棟名称

修成地区放課後児童クラブ

構 造

鉄骨造 2階建て

建築面積

143.86 m²

延べ面積

270.51 m²

工事項目

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）による。

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
① 一般 共通 事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 3) 津市木材利用方針
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行う。市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 敷地内別工事（機械設備工事）があるので、互いに協力し工事の遂行に影響のないよう進めること。 ※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※ 作業着手までの校内調査は事前に学校及び市監督員の承諾を得る

③発生材の処理等
(1.3.11)

④建設副産物情報交換システムの利用

⑤三重県産業廃棄物税

⑥電気保安技術者

⑦技能士

ものとし、学校終了後等の学校運営に影響を与えない範囲とする。
※ 運動場等を通行する際には、生徒の安全及び授業に支障をきたさないように配慮するものとし、通行動線については学校及び市監督員と協議する。
※ 夏休み中等の学校休校日であっても各種団体が利用する場合があるため、安全に十分注意すること。

○本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
・分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 (樹木、CB塀等)	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用

・引渡を要するもの（・無・）
・特別管理産業廃棄物・有（ ） 処理方法（ ）
・石綿含有成形板等解体時の留意点
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2.可能であれば潤溜状態（散水）として作業を進めること。
3.飛散されない様にする。こと。
4.保護員及び作業着を着用すること。
5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
○再資源化を図るもの ○コンクリート塊
○アスファルトコンクリート塊
○建設発生木材
引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

本工事はに産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
○配置する
(1.3.3)
(1.5.2) 職種別に可能なものについては積極的に活用すること

⑧建築材料等

⑨化学物質の濃度測定
(1.5.9)

⑩特別な材料の工法

⑪騒音・振動の防止

⑫工事写真
(1.2.4)

⑬完成図等
(1.7.1)
(1.7.2)
(1.7.3)

⑭完成写真

⑮設備工事との取合い

⑯設計GL

⑰養生その他

⑱事故の発生時

⑲消防関係の手続き

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（○図示（図面番号：A-14 ）・（ ））
測定方法（○パッシブ法 ・アクティブ法 ）
測定時期 ・（ ）
報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建技第14号）」による。

○作成する ○完成図 ○保全に関する資料 ・（ ）
○完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（図面サイズについては監督員と協議による。）により提出すること。

○デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。
（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲
○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ
施工図
○設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

○図示（図面番号：A-11 ）

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
○本工事 ○建築工事 ○電気設備工事 ・機械設備工事
・別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

⑳労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

㉑不正軽油の使用の禁止

22.屋外広告物

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

1) 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

工事名称

修成地区放課後児童クラブ建築工事

★

図面名

建築工事 特記仕様書（1）

★

縮尺

A2：N/S

★

日付

★

訂正

★

担当

★

承認

★

備考

★

原図：A2

藤川設計株式会社

一級建築士登録

297978

坂井 進一

A-O1

②

仮設工事

1. 監督員事務所
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の設備・備品
(2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

構内既存の施設
・利用できる
○ 利用できない

④工事用水

構内既存の施設
・利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ）
○ 利用できない

⑤工事用電力

構内既存の施設
・利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ）
○ 利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

⑥足場

内部足場の種別（参考）○ 脚立 ・ 棚足場 ・ （ ）
外部足場の種別（参考）○ 手摺先行据置枠組本足場
・ その他（ ）
防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
・ 足場（つり足場、張出し足場又は高さが1.0m以上の足場で、組立から解体までの期間が6.0日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2）労働安全衛生法第8.1条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第8.8条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者
3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

⑦交通誘導警備員

配置 ○ 図示(図面番号：A-31)

③

土工事

①埋戻し及び盛土
(3.2.3)
(表3.2.1)

②建設発生土の処理
(3.2.5)

3.山留めの撤去
(3.3.3)

種別

・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種

・ 処分地指定 処分地（ ）
○ 処分地未定につき相互協議する。
暫定運搬距離 ・ 8km ○ 4km ・ （ ）km

鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 砂充填 ・ （ ）
山留め壁等 ・ 撤去 ・ 存置

④

地業工事

①杭の施工管理

杭工事特記仕様書による。

②適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

③施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1. 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

④根拠資料

特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3.1条第4項又は第5項（第3.8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から1.0年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

⑤試験杭及び試験掘(4.2.2)

○ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示（図面番号：S-11 ）
・ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）

⑥支持層

支持層の位置、土質 ○ 図示（図面番号：S-10 ） ・ （ ）

（150 ）mm以下

⑦水平方向の位置ずれ(4.3.4)(4.5.5)

8.杭の載荷試験(4.2.3)

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ （ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN）
報告書 ・ 提出部数 2部

9.地盤の載荷試験(4.2.4)

試験方法 ・ 平板載荷 ・ （ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN）
報告書 ・ 提出部数 2部

⑩既製コンクリート杭(4.3.1)(表4.3.1)(4.3.3)(4.3.4)(4.3.5)(4.3.6)(4.3.8)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セツト数	長期設計 支持力(kN/本)	備考

先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型

施工方法
・ セメントミルク工法
・ オーガーの支持層への掘削深さ
・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ）
・ 杭の支持層への根入れ深さ
・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ）
・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験
・ 標準仕様書[4.3.4(6)(c)] ・ （ ）

○ 特定埋込杭工法
○ 杭の根入れ深さ
・ （ ）m ○ 図示（図面番号：S-11 ）
継手 ・ アーク溶接 ○ 無溶接継手（工法：S-11 ）
杭頭の処理 ・ 行う ○ 行わない

11.鋼杭地業
(4.4.3)(4.4.4)(4.4.5)(4.4.6)(4.3.5)(4.3.8)(7.2.5)

12.場所打ちコンクリート杭地業
(4.5.1)(4.5.4)(4.5.5)(4.5.6)

⑬地盤改良

⑭砂及び砂利地業(4.6.2)(4.6.3)

⑮捨コンクリート地業(4.6.4)

⑯床下防湿層
(4.6.2)(4.6.5)

・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490
・ H形鋼杭 ・ SHK400 ・ SHK490M
径 ・ φ300 ・ φ350 ・ φ400 ・ φ450 ・ φ（ ）
長さ（ ）m
継手の工法 ・ 現場溶接 ・ 機械式継手
溶接材料 ・ 標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外（ ）
・ 特定埋込杭工法
・ 杭の根入れ深さ ・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ）
杭頭処理の方法 ・ ガス切断 ・ （ ）

施工方法
・ アースドリル工法
・ リバース工法
・ オールケーシング工法
・ 鋼管コンクリート杭工法
掘底 ・ 行わない ・ 行う（ ）
杭の根入れ深さ
・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ）
孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない
帯筋の加工及び組立 ・ 図示（図面番号： ）
鉄筋の最小かぶり厚さ（ ）mm
鉄筋かごの補強
・ 図示（図面番号： ）
継手 ・ 重ね継手 ・ （ ）
コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種
設計基準強度（ ）N/mm²
セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ （ ）
スランプ（cm） ・ 18 ・ （ ）
構造体強度補正值（S） ・ 3 N/mm² ・ （ ）

・ （ 浅層地盤改良 ）工法
○ 六価クロム溶出試験
○ 室内配合試験
○ 一軸圧縮試験

砂利
○再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 ・ （ ）
砂
・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ （ ）
施工範囲 ○ 図示（図面番号：S-15、16 ）
厚さ(mm) ○ 60 ○ （100 ）
○仕上がりレベルを計測し、記録すること。

厚さ(mm) ○ 50 ○ （90 ）
施工範囲 ○ 図示（図面番号：S-15、16 ）
○仕上がりレベルを計測し、記録すること。

施工範囲 ○ 図示（図面番号： A-16、17 ）
ポリエチレンフィルム厚さ ○ 0.15mm以上 ・ （ ）
○防湿層の重ね幅、基礎梁へののみみみは、250mm以上とする。

⑤

鉄筋工事

①鉄筋の種類
(5.2.1)
(表5.2.1)

②溶接金網
(5.2.2)

③内法直径
(5.3.2)

④継手
(5.3.4)
(表5.3.2)
(表5.3.3)

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5.3.5)(表5.3.6)

⑥各部配筋
(5.3.7)

⑦圧接完了後の試験(5.4.10)

8.機械式継手及び溶接継手
(5.5.3)(5.5.5)(5.6.3)(5.6.5)

種類の記号	径	備 考
○SD295A	○D16以下	
○SD345	○D19以上	

・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

網目の形状、寸法
鉄線の径（mm） ・ 4 ・ 5 ○6 ・ （ ）
寸法(mm) ○100×100 ○150×150 ・ （ ）

90°未満の折曲げの内法直径 ・ 図示（図面番号： ）

	径	部 位
○ 重ね継手	D16以下	
○ ガス圧接	D19以上	基礎梁

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
○ 標準仕様書[5.3.4](3)(7) ・ 図示（図面番号： ）
継手位置
○ 各部配筋参考図による ・ 図示（図面番号： ）
鉄筋定着
○ 標準仕様書[表5.3.4] ・ 図示（図面番号： ）
・ 標準仕様書[図5.3.3] ・ 図示（図面番号： ）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ
○ 標準仕様書[表5.3.6] ・ 図示（図面番号： ）

○ 図示(図面番号：S-15、16)
※梁貫通孔補強については、構造特記及び標準仕様書 各部配筋参考図による
抜取試験方法 ○ 超音波探傷試験 ・ 引張試験
引張試験方法 ・ 標準仕様書[5.4.10](4)(b) ・ （ ）

・ 機械式継手 適用箇所（ ）
種類（ ） 性能（ ）
施工完了後の継手部の試験（ ）
不合格となった継手部への措置（ ）
鉄筋相互のあき（ ）mm
・ 溶接継手 適用箇所（ ）
工法（ ） 性能（ ）
施工完了後の溶接部の試験（ ）
不合格となった溶接部への措置（ ）
鉄筋相互のあき（ ）mm

工事名称

図面名

縮尺

日付

訂正

担当

承認

備考

原図：A.2

一級建築士登録
坂井 進一

297978

A-02

★

修成地区放課後児童クラブ建築工事

★

建築工事 特記仕様書（2）

★

A2：N/S

★

★

★

★

★

原図：A.2

藤川設計株式会社

一級建築士登録
坂井 進一

297978

A-02

⑥

コンクリート工事

①

コンクリートの使用骨材による種類及び強度
(6.2.1) (6.2.2) (6.2.4) (6.10.1) (6.10.2) (6.10.3) (6.11.1) (6.11.3) (表6.2.2) (表6.10.1)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ
㊦ 24 (N/mm²)	基礎・基礎梁		㊦ 15 (cm)
㊦ 21 (N/mm²)	立上り、土間		㊦ 15 (cm)
㊦ 18 (N/mm²)	デッキスラブ・捨てコン		㊦ 15 (cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)

②

コンクリートの類別
(6.2.1) (表6.2.1)

・ Ⅰ類

・ Ⅱ類

・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)

③

コンクリートの仕上り
(6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種類

・ A種 ㊦ B種

・ C種

仕上りの平たんさ

㊦ a種

・ b種

・ c種

④

セメント
(6.3.1) (表6.3.1)

種類

㊦ 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種

・ ()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・ 適用箇所 図示 (図面番号:)

⑤

骨材
(6.3.1)

アルカリシリカ反応性による区分

㊦ A

・ B

・ 特殊な骨材の使用

・ フェロニッケルスラグ細骨材

・ 銅スラグ細骨材

・ 電気炉酸化スラグ骨材

・ 再生骨材 H

⑥

コンクリートの材料
(6.3.1) (6.3.1) (表6.3.2)

混和材料 ㊦ 図示 (図面番号: S-01)

混和剤の種類、使用方法、使用量

・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)

・ ()

混和材の種類、使用方法、使用量

・ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)

・ ()

構造体強度補正值 (S) ㊦ 標準仕様書 [表6.3.2] ・ ()

⑦

打継ぎ
(6.6.4)

位置 ㊦ 標準仕様書 [6.6.4] (1) ・ 図示 (図面番号:)

⑧

養生
(6.7.2)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

⑨

型枠
(6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)

材料 ㊦ 複合合板 (厚さ (mm) ㊦ 12 ・ ())

打増し厚さ ・ 図示 (図面番号:)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

・ 図示 (図面番号:)

・ 断熱材の兼用

・ MCR 工法用シート

スリーブの材種、規格等

・ 鋼管

・ 硬質ポリ塩化ビニル管

・ 溶融亜鉛めっき鋼板

・ つば付き鋼管

・ 図示 (図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日

適用期間 ()

・ 構造体強度補正值 (S) は積算温度を基に定める

10

寒中コンクリート
(6.11.1)

・ 構造体強度補正值 (S)

㊦ 6 N/mm² ・ ()

⑪

暑中コンクリート
(6.12.2)

構造体強度補正值 (S)

㊦ 6 N/mm² ・ ()

12

マスコンクリート
(6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

セメントの種類

・ 普通ポルトランドセメント

・ 中庸熱ポルトランドセメント

・ 低熱ポルトランドセメント

・ 高炉セメントB種

・ フライアッシュセメントB種

・ シリカセメント

スランブ

・ 15cm

・ ()

混和剤の種類

・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (7) ・ ()

混和材の種類

・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ・ ()

構造体強度補正值 (S) ・ 標準仕様書 [表16.3.1] ・ ()

13

無筋コンクリート
(6.14.1)

適用箇所

標準仕様書 [6.14.1]

・ (7) ・ (4) ・ (4) ・ (エ) ・ (オ) ・ (カ)

・ 上記以外の適用箇所 ()

設計基準強度

・ 18 (N/mm²)

・ () (N/mm²)

スランブ

・ 15cm

・ 18cm

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

14

流動化コンクリート
(6.15.1)

適用箇所

・ 図示 (図面番号:)

⑦

鉄骨工事

①

施工管理技術者
(7.1.4)

②

製作用工場
(7.1.3)

・ (株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作用工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ J ㊦ R

・ M

・ H

・ S

③

鋼材
(7.2.1) (表7.2.1)

種類、形状及び寸法 ㊦ 図示 (図面番号: S-17)

④

高力ボルト
(7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)

種類

㊦ トルシア形高力ボルト (S10T)

・ JIS 形高力ボルト 2 種 (F10T)

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1 種 (F8T 相当)

・ ()

高力ボルトのねじの呼び

㊦ 図示 (図面番号: S-17)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

㊦ 図示 (図面番号: S-17)

すべり試験の試験方法 ・ ()

JIS 形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの 5 倍を超える場合

・ 回転量 () °

6

溶融亜鉛めっき高力ボルト
(7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)

摩擦面の処理

・ プラスト処理 (表面粗度 50 μ mRz 以上)

・ りん酸塩処理

すべり試験の試験方法 ・ ()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・ 図示 (図面番号:)

⑦

アンカーボルト
(7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3)

種類

構造用

・ ABR400B ㊦ (S-8、17)

建方用

・ SS400

・ ()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

㊦ A 種

・ B 種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上りの程度

㊦ 標準仕様書 [表7.2.3]

・ 図示 (図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

㊦ 図示 (図面番号: S-8、17)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

㊦ 図示 (図面番号: S-8、17)

⑧

溶接材料
(7.2.5)

材料

・ 標準仕様書 [7.2.5] (1) (2) 以外の溶接材料 ()

⑨

ターンバックル
(7.2.6)

種類及びねじの呼び等

㊦ 図示 (図面番号: S-17)

建方用ターンバックル胴 ㊦ 割枠式

・ ()

建方用ターンバックルボルト ㊦ 羽子板ボルト

・ ()

⑩

デッキプレート
(7.2.7) (7.7.8)

材質、形状及び寸法 ㊦ 図示 (図面番号: S-09)

溶接方法

・ 図示 (図面番号:)

11

スタッド
(7.2.8)

種類等

・ 図示 (図面番号:)

⑫

柱底均しモルタル
(7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)

柱底均しモルタルの工法、厚み

㊦ A 種 (30) mm

・ B 種 () mm

無収縮モルタルの材料及び調合

㊦ 標準仕様書 [7.2.9] (2) ・ ()

13

材料試験等
(7.2.10)

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・ JIS G 0901 により行う

⑭

ボルトの孔径
(7.3.8)

普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)

㊦ ねじの呼び径 ± 1.0mm ・ ()

⑮

仮組
(7.3.10)

㊦ 行わない

・ 行う

仮組を行う範囲

・ 図示 (図面番号:)

⑯

溶接作業における技能資格者
(7.6.3)

溶接作業の技量付加試験

㊦ 行わない

・ 行う

⑰

溶接部の開先
(7.6.4)

開先の形状

㊦ 図示 (図面番号: S-6)

⑱

溶接施工
(7.6.7)

鋼製エンドタブの切除

㊦ 適用及び切断範囲 図示 (図面番号: S-6)

切断面の仕上げ

㊦ 標準仕様書 [7.6.7 (1) (a) (b)] ・ 図示 (図面番号: S-6)

鋼製エンドタブに代わるその他の工法

鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。

1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。

2. 製作工場が J、R、M グレードの場合は、溶接技能者が NPQ 法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A 級以上) 、又は AW 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。また、製作工場が H、S グレードの場合は溶接技能者が AW 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とすること。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)

スカラップの形状

・ 図示 (図面番号:)

⑲

溶接部の試験
(7.6.12)

試験の種類

溶接部の外観試験方法 ・ ()

㊦ 超音波探傷試験 ・ ()

溶接区分	AQQL (%)	検査水準	備考
現場溶接			・ 全数試験
工場溶接	・ 2.5 ㊦ 4.0	㊦ 6	

⑳

錆止め塗装
(7.8.2) (7.8.4)

耐火被覆材の接着する面への塗装

塗装範囲 図示 (図面番号:)

種別

㊦ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (B、C、D) 種

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] () 種

⑧

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板

21

耐火被覆
(7.9.2) (7.9.3)

耐火被覆材の接着する面以外への塗装

塗装範囲 図示 (図面番号:)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)

・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] () 種

部位	種類	材料	工法	耐火性能

㊦

軽量形鋼
(7.11.2)

接合部 (ボルト接合の場合)

㊦ 普通ボルト接合 ・ ()

1

補強コンクリートブロック造
(8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8) (表8.2.1)

種類

・ 空洞ブロック 16

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法

・ 図示 (図面番号:)

各部の配筋

・ 図示 (図面番号:)

目地仕上り

・ 押し目地

・ 化粧目地

モルタルの調合

・ 標準仕様書 [8.2.3] ・ ()

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・ 図示 (図面番号:)

ブロックの種類

㊦ 標準仕様書 [表8.3.1]

ブロック帳壁及び塀

・ 図示 (図面番号:)

正味厚さ、モジュール呼び寸法、ブロックの厚さ

㊦ 図示 (図面番号: A-28)

モルタルの調合

㊦ 標準仕様書 [8.2.3] ・ ()

化粧

・ 有り

㊦ 無し

塀の厚さ H ≤ 2.0m

・ 120mm

・ ()

H > 2.0m

・ 150mm

・ ()

各部の配筋

㊦ 図示 (図面番号: A-28)

モルタル又はコンクリートの充填範囲

・ 図示 (図面番号:)

3

ALCパネル
(8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)

区分	単位荷重 (N/mm²)	呼び寸法			構法	耐火性能
		厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)		
・ 外壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ A 種 ・ B 種	・ () 時間 ・ 無し
・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ C 種 ・ E 種 ・ D 種	・ () 時間 ・ 無し
・ 屋根パネル	・ ()	・ 100 ・ ()	・ ()	・ ()	・ F 種	・ () 時間 ・ 無し
・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ ()	・ ()	・ F 種	・ () 時間 ・ 無し

パネル幅を 300mm 以下とする部分

・ 適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法

・ 適用あり

パネル短編小口相互の伸縮目地幅 (mm)

・ ()

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm)

・ ()

伸縮目地への耐火目地材の充填

・ 適用する (材料:)

4

押出成形セメント板
(8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)

種類	表面形状及び原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・ 外壁パネル	・ フラットパネル	・ ()	・ ()	・ A 種
	・ デザインパネル			・ B 種
	・ タイルベースパネル			
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル	・ ()	・ ()	・ B 種
	・ デザインパネル			・ C 種
	・ タイルベースパネル			

パネル幅を 300mm 以下とする部分

・ 適用あり

パネル相互の目地幅 (mm)

・ 長辺 8 以上、短辺 15 以上

・ ()

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm)

・ 15

・ ()

目地及び隙間の処理

・ ()

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法

・ 適用あり

間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・ パネル開口の限度

・ 図示 (図面番号:)

工事名称

修成地区放課後児童クラブ建築工事

図面名

建築工事 特記仕様書 (3)

縮尺

A2 : N/S

日付

訂正

担当

承認

備考

原図 : A 2

一級建築士登録

297978

坂井 進一

A-03

藤川設計株式会社

9

防水工事

1.アスファルト防水

(表9.2.3)～(表9.2.8)

(9.2.2)

(9.2.3)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]・図示()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]・図示()

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム(厚さ0.15mm以上)

・フラットヤーンクロス(70g/㎡)

押え金物

・アルミニウム製L-30×15×2.0(mm)・図示(図面番号:)

断熱材

・屋根保護防水断熱工法

厚さ()mm

・屋根露出防水断熱工法

種類()厚さ()mm

屋根保護防水

立上り部の保護工法・図示(図面番号:)

乾式保護材・使用する

立上り部保護れんが・JIS R 1250・()

断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート・設置する

脱気装置

・設置数量 図示(図面番号:)種類()

屋根露出防水における仕上塗料

・図示(図面番号:)種類()使用量()

屋内防水密着工法における保護層

・図示(図面番号:)

E-1の工程3・行う・行わない

防水層の下地モルタル塗り

・図示(図面番号:)

立上りのコンクリート打放し仕上の種別

種別・B種・()

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示(図面番号:)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上り・水下80mm以上・()

床タイル張り・水下60mm以上・()

立上り部の保護方法

・乾式保護材・れんが押え・コンクリート押え

・モルタル押え(屋内等)・()

屋上排水溝

・図示(図面番号:)

種別	施工箇所

2.改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

(9.3.3)

(表9.3.1)～(表9.3.3)

改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]・図示()

押え金物の材質、形状、寸法

・アルミニウム製L-30×15×2.0(mm)・()

仕上塗料

・図示(図面番号:)種類()使用量()

脱気装置・設置数量 図示(図面番号:)種類()

断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類()厚さ()mm

防湿用シートの設置・有り・無し

3.合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)

(9.4.3)

(9.4.4)

(表9.4.1)

(表9.4.2)

(表9.4.3)

ルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]・図示()

可塑性移行防止用シート

・発砲ポリエチレンシート・()

固定金具

材質、寸法形状()

・図示(図面番号:)

断熱材

種類、厚さ

・機械的固定工法 図示(図面番号:)

・接着工法 図示(図面番号:)

仕上塗料

・図示(図面番号:)種類()使用量()

防湿用フィルムの設置・有り・無し

屋内保護密着工法

モルタル塗り厚さ・()mm

立上り部の保護モルタル塗厚さ・7mm以下・()mm

目地処理(接着工法)

PC下地・図示(図面番号:)

増張り(S-F1、SI-F1)

PC入隅部・図示(図面番号:)

機械的固定工法

風圧力に対応した工法・図示(図面番号:)

脱気装置

・設置数量 図示(図面番号:)種類()

施工箇所	種別
	X-1
	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置(X-1)

・設置数量 図示(図面番号:)種類()

保護層(Y-2)・保護コンクリート・保護モルタル

仕上塗料(X-1、X-2)

・図示(図面番号:)種類()使用量()

防水層の下地

壁及び天井部の仕上り・コンクリート打放し仕上り(B種)

・図示(図面番号:)

防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理

・標準仕様書[9.6.4](2)(7)後段・()

標準仕様書[9.6.4](2)(4)及び(4)以外の処理・()

5.ケイ酸質系塗布防水

(9.6.4)

防水層の下地

壁及び天井部の仕上り・コンクリート打放し仕上り(B種)

・図示(図面番号:)

防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理

・標準仕様書[9.6.4](2)(7)後段・()

標準仕様書[9.6.4](2)(4)及び(4)以外の処理・()

⑥シーリング

(9.7.2)

(9.7.3)

(表9.7.1)

(9.7.5)

○標準仕様書[表9.7.1]による

施工箇所	目地寸法	種類	仕上
サイディング取合い、建具廻り等	20×10	MS-2	・省略
面台・手洗い廻り	10×10	MS-2	
ガラス留付け	10×10	SR-1	

接着性試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	・防水	・10年・年

※防水工事業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

7.保証書

10

石工事

3.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・()

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・() ・()	

取付用モルタル・図示(図面番号:)

目地用モルタル・図示(図面番号:)

浸透性吸水防止剤・図示(図面番号:)

石裏面処理材・図示(図面番号:)

裏打ち処理材・図示(図面番号:)

充填材料・図示(図面番号:)

4.その他の材料

(10.2.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

アンカーの材質及び寸法

材質・SS400・()寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法・()

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き25～35φ

・()

石材の厚さ・25mm以上・()

石裏面処理・適用する

裏打ち処理・適用する

下地ごしらえ

・流し筋工法

・あと施工アンカー工法

・あと施工アンカー横筋流し工法

目地

一般目地

目地幅・6mm以上・()

シーリング材の有無・有り・無し

伸縮調整目地

位置・標準仕様書[表11.1.1]・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

5.内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

(10.4.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

アンカーの材質及び寸法

材質・SS400・()寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法・()

石材の厚さ・20mm以上・()

下地ごしらえ

・あと施工アンカー・横筋流し工法

・あと施工アンカー工法

目地

一般目地

目地幅・6mm以上・()

伸縮調整目地

位置・6mごと・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

6.外壁乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(10.5.3)

(表10.2.4)

金物の種類、形状、寸法・図示(図面番号:)

取り付け工法

・スライド方式

・ロックキング方式

アンカーの材質及び寸法

材質・SUS304・()寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法・()

石材の厚さ・30mm以上(外壁)・25mm以上(内壁)・()

たば用穴の位置

・図示(図面番号:)

裏打ち処理・適用する

風圧力に対応した工法

・図示(図面番号:)

目地

目地幅・8mm以上・()

シーリング材・適用する

8.床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

石材の厚さ・()mm

石裏面処理・適用する(浸透性吸水防止剤)

裏打ち処理・適用する(浸透性吸水防止剤)

目地

一般目地

目地幅・屋内4mm以上、屋外3～6mm

・図示(図面番号:)

伸縮調整目地

位置・標準仕様書[10.6.2](5)(4)(a)後段

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

9.笠木、甲板等

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.5.3)

(10.7.2)

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段・()

アンカーの材質及び寸法

材質・SUS304・()寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法・()

取付工法

・湿式工法

・乾式工法

石材の厚さ・()mm

石裏面処理・適用する

取付け代(乾式工法の場合)

・標準仕様書[10.5.3](2)・()mm

石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)

・適用する 図示(図面番号:)

目地

一般目地

目地幅・()mm

伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)

位置・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

10.隔て板

(10.7.3)

石材の厚さ・40mm・()

⑪

タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

位置・標準仕様書[表11.1.1]

・図示(図面番号:)

⑫

タイル張り

(11.1.4)

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.2.3)

(11.3.2)

(11.3.3)

(11.3.4)

(表11.3.2)

試験張りを行う

・見本焼きを行う

・既調合モルタル材料()

セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事

コンクリート素地面の処理・適用箇所 図示(図面番号:)

・目荒し工法

・MCR工法

有機系接着剤あと張り工事

シーリング材の種類

打継、ひび割れ誘発目地・PU-2・()

伸縮、その他目地・MS-2・()

外装タイル接着剤張りの目地詰め

・行う

・行わない

施工箇所	工法	種類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性
スロープ		湿式	150×150	○			標準	無
段鼻		湿式	100×100	○		○	標準	無
手洗い		湿式	50×50		○		標準	無

工事名称

修成地区放課後児童クラブ建築工事

図面名

建築工事 特記仕様書(4)

縮尺

A2: N/S

日付

訂正

担当

承認

備考

原図: A 2

一級建築士登録

297978

坂井 進一

A-04

藤川設計株式会社

⑫

木

工

事

①木材

(12.2.1)

(12.4.1)

(12.5.1)

(12.6.1)

(12.7.1)

(表12.2.1)

②製材

(12.2.1)(2)(7)

(12.2.1)(2)(4)

(表12.2.2)

③集成材等

(12.2.1)(3)

4.造作用単板積層材

(12.2.1)(4)

5.直交集成材

(12.2.1)(5)

⑥合板等

(12.2.1)(6)

⑦接合具等

(12.2.2)

(表12.2.3)

～(表12.2.5)

8.防腐・防蟻

・防虫処理

(12.3.1)

(12.3.2)

9.RO造等の間仕切軸組及び床組

(12.4.1)

10.窓、出入口等

(12.5.1)

11.床板張り

(12.6.1)

12.壁及び天井下地

(12.7.1)

⑬

屋根及びとい工事

⑭

金属工事

ミディアムデンシティーファーパーボード（MDF）

表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等

・図示（図面番号：）

造成材の化粧面の釘打ち

○隠し釘打ち・釘頭埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し

諸金物の形状、寸法、材質

・図示（図面番号：）

防腐・防蟻処理

薬剤加圧注入

適用部材、保存処理性能区分・図示（図面番号：）

薬剤の塗布等

処理方法・薬剤の製造所の仕様・（）

附属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による処理

薬剤の種類、適用部材・図示（図面番号：）

薬剤の接着剤への混入・（）

合板等の加圧注入・（）

防虫処理・（）

間仕切軸組に用いる木材・杉・松・（）

床組に用いる木材（土間ｽﾗﾌﾞ類の土台、転ばし大引、転ばし根太）

・ひのき・保存処理材・（）

床組に用いる木材（上記以外）・杉・松・（）

吊元杢、水掛りの下杢、敷居・ひのき・（）

上記以外・松・杉・（）

縁甲板、上がりがまち・ひのき・（）

木材・杉・松・（）

①木材

(12.2.1)

(12.4.1)

(12.5.1)

(12.6.1)

(12.7.1)

(表12.2.1)

②製材

(12.2.1)(2)(7)

(12.2.1)(2)(4)

(表12.2.2)

③集成材等

(12.2.1)(3)

4.造作用単板積層材

(12.2.1)(4)

5.直交集成材

(12.2.1)(5)

⑥合板等

(12.2.1)(6)

木材の含水率

部材名称		種別	
下地材	○A種	・B種	
造作材	○A種	・B種	

「JAS 1083」による製材

	寸法	等級	含水率	保存処理	県産材
下地用製材	・図示（：）	・（）			
造作用製材	○図示（：A-26）	○上小節			○
広葉樹製材	・図示（：）	・（）	・10%以下		

「JAS 1083」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率

・図示（図面番号：）

造作材の材面の品質○A種・（）

部位	樹種	県産材

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	○図示（図面番号：A-17）	○1等・（）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号：）	・1等・（）	

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等

樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等

・図示（図面番号：）

「JAS 0701」による造作用単板積層材

品名、寸法、表面の品質及び防虫処理

・図示（図面番号：）

「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理

・図示（図面番号：）

「JAS 3079」による直交集成材

品名、曲げ強度（強度等級）、種別、接着性能（使用環境）、樹種、寸法

・図示（図面番号：）

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ
壁下地	耐水合板	1類	2類			
床下地	耐水合板	1類	2類			

構造用合板の強度等級

・図示（図面番号：）

特殊加工化粧合板の化粧加工方法

・オーバーレイ・プリント・塗装・（）

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等

・図示（図面番号：）

⑦接合具等

(12.2.2)

(表12.2.3)

～(表12.2.5)

8.防腐・防蟻

・防虫処理

(12.3.1)

(12.3.2)

9.RO造等の間仕切軸組及び床組

(12.4.1)

10.窓、出入口等

(12.5.1)

11.床板張り

(12.6.1)

12.壁及び天井下地

(12.7.1)

⑬

屋根及びとい工事

⑭

金属工事

④とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(表13.5.2)

(13.5.3)

(表13.5.4)

材種

○硬質ポリ塩化ビニル管(VP)・配管用鋼管(白管)

・（）

表面処理鋼板の塗膜の種類・（）

耐酸被覆鋼板材質等・（）

受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔○図示（図面番号A-16）

軒どいの取付け間隔（多雪地域）・0.5m以下・（）

鋼管製といの防露巻工法・標準仕様書〔表13.5.4〕・（）

④軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

(表14.4.1)

(14.4.3)

(表14.4.2)

(14.4.4)

④軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

(14.5.4)

5.金属成形板張り

(14.6.2)

(14.6.3)

6.アルミニウム製笠木

(14.7.2)

(14.7.3)

(表14.7.1)

⑦天井見切縁

⑧点検口

表面処理の種別

・AB-1・AB-2・AC-1・AC-2・BA-1

・BA-2・BB-1・BB-2・BC-1・BC-2

・C（常温乾燥形の塗装（））

陽極酸化被膜の着色方法・二次電解着色・（）

陽極酸化被膜の色合い等・（）

亜鉛めっきの種別

・A種・B種・C種・D種・E種・F種

野縁等の種類

屋内○19形・（）

屋外・25形・（）

屋外の野縁受等の間隔・図示（図面番号：）

吊りボルトの補強方法（@900mm超）・図示（図面番号：）

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・天井ふところ>3.0m図示（図面番号：）

・耐震天井図示（図面番号：）

・耐風圧の補強図示（図面番号：）

スタッド、ランナーの種類

○19形・50形○65形・90形○100形

・ｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分・図示（図面番号：）

スタッドの高さ5m超

・図示（図面番号：）

出入口、開口部の補強○標準仕様書〔14.5.4〕(5)後段・（）

施工箇所

種別	・アルミニウム ・ステンレス・鋼
形状	・スバンドレル形 ・パネル形
表面処理	・

取付け用下地・図示（図面番号：）

長尺ものにおける伸縮調整継手

・設ける図示（図面番号：）

部材の種類

・250形・300形・350形

表面処理・（）

固定方法・図示（図面番号：）

風圧力及び積雪荷重に対応した工法・図示（図面番号：）

材種

・アルミニウム合金製○塩化ビニル製

取付箇所

	材種	寸法	形式
○天井	○アルミニウム製	○450角 ・600角	○額縁タイプ ・目地タイプ
・床	・アルミニウム製	・450角 ・600角	

1.ラス系下地

(15.2.4)

2.せっこうボード

その他のボード下地

(15.2.5)

3.こまい下地及び木ずり下地

(15.2.6)

(15.2.7)

④モルタル塗り

(15.3.2)

(15.3.5)

5.仕上塗材仕上

(15.6.2)

(表15.6.1)

通気工法・二層下地・単層下地

直張り工法・ラスモルタル下地・ラスシートモルタル下地

ラス及び補強用平ラス

材料記号	種類	質量 (kg/m ²)
・K	・（）	・（）
・（）		

ラスシート

山高 (mm)	山ピッチ (mm)	質量 (kg)	溶接ピッチによる区分
・（）	・（）	・（）	・（）

外張断熱工法・図示（図面番号：）

ステーブルの形状、寸法・図示（図面番号：）

換気口部の措置・標準仕様書(木造)〔11.4.3〕(2)㌾・（）

耐力壁のラスシートの施工・図示（図面番号：）

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ

・図示（図面番号：）

・（）

木質系セメント板の種類、厚さ

・図示（図面番号：）

・（）

耐力壁の指定・図面（図面番号：）

木ずり用小幅板の樹種

・杉（芯去り材）

・図示（図面番号：）

材料

・現場調査材料・既調査材料

既製目地材○使用する図示（図面番号：）

床の目地・図示（図面番号：）

下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験（外壁タイル張り等）

・実施する

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法
薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け
	・内装薄塗材E	・着色骨材砂壁状	
厚付け仕上塗材	・（）	・（）	・（）
	・外装厚塗材C	・スタックコ状	・吹放し ・凸部処理 ・吹付け
		・平たん状	・こて
		・凹凸状	
複層仕上塗材	・外装厚塗材Si	・スタックコ状	・吹放し ・凸部処理 ・吹付け
		・平たん状	・こて
		・凹凸状	
	・外装厚塗材E	・ひき起こし	・ローラー
複層仕上塗材	・（）	・（）	・（）
	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水型複層塗材E ・防水型複層塗材RE	・ゆず肌状	・ローラー
		・凸部処理	
		・凹凸状	
軽量骨材仕上塗材	・（）	・（）	・（）
	・（）	・（）	・（）

内装薄塗材、内装厚塗材（吸放湿性を有するもの）

・JIS A 6909 調湿形

複層仕上塗材の耐候性・耐候形3種・（）

外装厚塗材Cの上塗材

・セメントスタッコ以外の場合材所要量（）kg/m²

外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用

・あり・なし

工事名称

図面名

縮尺

日付

訂正

担当

承認

備考

原図：A 2

一級建築士登録

297978

坂井 進一

A-05

修成地区放課後児童クラブ建築工事

建築工事 特記仕様書（5）

A2：N/S

★

★

★

★

★

★

★

★

⑮ 左 官 工 事	(表15. 6. 2)	複層仕上塗材の上塗材の種類				防音ドア、防音サッシの遮音性・()等級 断熱ドア、断熱サッシの断熱性・()等級 建具枠見込み寸法・図示(図面番号：) 結露水の処理方法・() 水切り板、ぜん板等・図示(図面番号：) 建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) ・製造所の仕様による・()		(表16. 7. 3) (16. 7. 4) (表16. 7. 8)	フラッシュ戸の形状 表面板の厚さ○標準仕様書[表16. 7. 6]・() 引戸の召合わせ・いんろう付き・図示(図面番号：) かまち戸かまち、鏡板の樹種・図示(図面番号：) ふすま種別・Ⅰ型・Ⅱ型 上張の種類・図示(図面番号：) 縁の仕上げ・図示(図面番号：) 枠及びくつずりの材料・図示(図面番号：) 各木製建具の見込み寸法○標準仕様書[表16. 7. 7] ・図示(図面番号：)		18. ガラスブロック 積み (16. 14. 5)	表面形状、寸法、厚さ・図示(図面番号：) 壁用金属枠、補強材・図示(図面番号：) カ骨の材質等・SUS304、φ5. 5はしご形状複筋、単筋・() 化粧目地モルタルの色・() シーリング材の種類・() 化粧カバーの材質、形状等・図示(図面番号：) 風圧力に対応した工法・図示(図面番号：) アンカー等の留付け間隔(木下地の場合)・図示(図面番号：) 目地幅、伸縮調整目地 ・標準仕様書[16. 14. 5] (2) (7) (a) (b) (i) の各後段・()																																				
	6. マスチック塗 材塗り(15. 7. 2) (表15. 7. 1)	種別・A種・B種		⑤網戸等 (16. 2. 3)	形式○可動式・固定式 防虫網網の材質・合成樹脂・ガラス繊維入り合成樹脂 ○ステンレス(SUS316)・() 線径・0. 25mm以上・() 網目○16メッシュ・18メッシュ・()	外部建具の性能等級等 コンクリート系下地、鉄骨下地 ・A種・B種・C種・() 木下地 ・D種・E種・() 建具の遮音性能等級 ・T-1・T-2・() 外部建具の断熱性能等級 ・H-4・H-5・H-6・H-7・H-8・() 外部建具の日射熱取得性能等級・() ガラス・複層ガラス・() 建具枠見込み寸法・図示(図面番号：) 表面色・標準色・特注色 水切り板ぜん板・図示(図面番号：) 建具周りの止水処理(外部に面するもののみ) ・製造所の仕様による・()		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー○製作する・製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス・要○不要 鍵の製作本数等○3本一組とし、室名札を付ける・()		17 カー テン ウ ォ ール 工 事	1. 種類 (17. 1. 1) (17. 1. 3) 2. 性能等 (17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 3. メタルカーテン ウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (表17. 2. 1) (17. 2. 5) (17. 2. 6) (表17. 2. 2) (表17. 2. 3) 4. PCカーテン ウォール (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 4) (17. 3. 5) (17. 3. 6) (表17. 3. 1) (表17. 3. 2)	・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール 耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類() 断熱材() カーテンウォールの材料 材料規格等見え掛り部の仕上げ映像調整 ・アルミニウム製・標準仕様書[16. 2. 3] ・()・() 製品の寸法許容差・標準仕様書[表17. 2. 1] ガラス溝の寸法、形状等・製造所の仕様による ・図示(図面番号：) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 2]・() カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 3]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：) カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質・図示(図面番号：) 鉄筋・SD295A・() 補強鉄線の径、網目寸法・図示(図面番号：) 耐火目地材・() 配筋・図示(図面番号：) 先付け材料・仕上げ材()・建具枠() ・ゴンドラ用ガイドレール()・() 製品の寸法許容差等・標準仕様書[表17. 3. 1]による・() 表面仕上げ材・磁器質タイル 石材(・花こう岩・大理石・()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 3. 2]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：)																																			
7. しっくい塗り (15. 10. 1) (15. 10. 2) (15. 10. 3) (15. 10. 4) (表15. 10. 1) (表15. 10. 2)	下地・標準仕様書[15. 10. 1]・() 材料・既調査合材料(色しっくい・適用する・適用しない) ・現場調査材料 調査及び各層の塗厚 せっこうボード下地・標準仕様書[表15. 10. 1]・() モルタル塗り下地・標準仕様書[表15. 10. 2]・() せっこうラスボード下地・製造所仕様による・() 木ずり下地・標準仕様書[表15. 10. 3]・() せっこうブラスター下地、こまい土壁下地 ・標準仕様書[表15. 10. 4]・() その他の下地・() 工法上塗り仕上げ工法・なで切り仕上げ・パターン仕上げ	8. こまい壁塗り (15. 11. 2) (15. 11. 3) (15. 11. 4) (15. 11. 5) (15. 11. 7) (15. 11. 8) (表15. 11. 2) (表15. 11. 8) (表15. 11. 9)	のりの種類 土壁用・ふのり・つのまた・ぎんなんそう ・粉末海藻・() 砂壁用・ふのり・つのまた・こんにゃくのり ・にかわ・合成高分子系混和剤・() 色土の種類土物仕上げ・()ちりじゃくり・() 大津仕上げ・()ちりじゃくり・() 色砂の種類・() 下塗りの調査・標準仕様書[表15. 11. 2]・() 塗厚・標準仕様書[表15. 11. 8]・() 耐力壁の指定・図示(図面番号：) 工程種別・A種・B種	9. ロックウール 吹付け (15. 12. 3)	仕上げ吹付け厚さ()mm	⑧鋼製軽量建具 (16. 5. 2) (16. 5. 3) (16. 5. 4) (表16. 5. 1)	簡易気密型ドアセット・図示(図面番号：) 耐震ドアの面内変形追随性・()等級 防音ドア、防音サッシの遮音性・()等級 断熱ドア、断熱サッシの断熱性・()等級 鋼板類の種類・図示(図面番号：) 召合せ、縦小口包み板等の材質 ○鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム合金押出型材 鋼板類の厚さ・[表16. 5. 1]○図示(図面番号： A-25) H>2400mm又はW>950mm・図示(図面番号：)	9. ステンレス製 建具 (16. 6. 2) (16. 6. 3) (16. 6. 4) (16. 6. 5) (表16. 4. 1)	簡易気密型ドアセット・図示(図面番号：) 外部建具の耐風圧性・S-4・S-5・S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性・()等級 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性・()等級 耐震ドアセットの面内変形追随性・()等級 ステンレス鋼板・SUS304・() 表面仕上げHL・鏡面仕上げ 曲げ加工・普通曲げ・角出し曲げ			15. 軽量シャッター (16. 12. 2) (表16. 12. 1) (16. 12. 3) (16. 12. 4)	シャッターの種類・図示(図面番号：) 外壁開口部のシャッター ・耐風圧強度()Pa以上 開閉方式・図示(図面番号：) 安全装置の設置箇所・図示(図面番号：) シャッターケース・図示(図面番号：) 鋼板の種類・図示(図面番号：) ・めっき付着量・Z12・F12・() 開閉方式・図示(図面番号：) ・耐風圧強度()Pa以上 保護装置の設置箇所・図示(図面番号：) スラットの材質、めっき付着量 ・JIS G 3312・Z06・F06・() ・JIS G 3322・AZ90・() スラットの形状 ・インターロッキング形・オーバーラッピング形		⑱ 塗 装 工 事	①材料 ②施工一般 (18. 1. 4) (18. 2. 2) ～(18. 12. 2)	<table><tr><th colspan="2">塗料塗り</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">下地の 種類</th><th rowspan="2">素地 ごしらえ</th><th rowspan="2">錆止め塗料 の種類</th></tr><tr><th>種類</th><th>種別</th></tr><tr><td>SOP</td><td>・A種 ○B種</td><td>階段</td><td>鉄鋼面</td><td>・A種 ・B種 ○C種</td><td></td></tr><tr><td>EP</td><td>・A種 ○B種</td><td>階段・通路</td><td>ボード面</td><td>○A種 ・B種</td><td></td></tr><tr><td>CL</td><td>・A種 ○B種</td><td>腰壁・笠木 框・三方枠</td><td>木部面</td><td>・A種 ○B種</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	塗料塗り		施工箇所	下地の 種類	素地 ごしらえ	錆止め塗料 の種類	種類	種別	SOP	・A種 ○B種	階段	鉄鋼面	・A種 ・B種 ○C種		EP	・A種 ○B種	階段・通路	ボード面	○A種 ・B種		CL	・A種 ○B種	腰壁・笠木 框・三方枠	木部面	・A種 ○B種						
塗料塗り		施工箇所	下地の 種類	素地 ごしらえ	錆止め塗料 の種類																																											
種類	種別																																															
SOP	・A種 ○B種	階段	鉄鋼面	・A種 ・B種 ○C種																																												
EP	・A種 ○B種	階段・通路	ボード面	○A種 ・B種																																												
CL	・A種 ○B種	腰壁・笠木 框・三方枠	木部面	・A種 ○B種																																												
⑯ 建 具 工 事	1. 防火戸 (16. 1. 3)	防火戸の指定・図示(図面番号：) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの ・図示(図面番号：)		⑨鋼製軽量建具 (16. 6. 2) (16. 6. 3) (16. 6. 4) (16. 6. 5) (表16. 4. 1)	簡易気密型ドアセット・図示(図面番号：) 外部建具の耐風圧性・S-4・S-5・S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性・()等級 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性・()等級 耐震ドアセットの面内変形追随性・()等級 ステンレス鋼板・SUS304・() 表面仕上げHL・鏡面仕上げ 曲げ加工・普通曲げ・角出し曲げ		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー○製作する・製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス・要○不要 鍵の製作本数等○3本一組とし、室名札を付ける・()		17 カー テン ウ ォ ール 工 事	1. 種類 (17. 1. 1) (17. 1. 3) 2. 性能等 (17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 3. メタルカーテン ウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (表17. 2. 1) (17. 2. 5) (17. 2. 6) (表17. 2. 2) (表17. 2. 3) 4. PCカーテン ウォール (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 4) (17. 3. 5) (17. 3. 6) (表17. 3. 1) (表17. 3. 2)	・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール 耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類() 断熱材() カーテンウォールの材料 材料規格等見え掛り部の仕上げ映像調整 ・アルミニウム製・標準仕様書[16. 2. 3] ・()・() 製品の寸法許容差・標準仕様書[表17. 2. 1] ガラス溝の寸法、形状等・製造所の仕様による ・図示(図面番号：) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 2]・() カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 3]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：) カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質・図示(図面番号：) 鉄筋・SD295A・() 補強鉄線の径、網目寸法・図示(図面番号：) 耐火目地材・() 配筋・図示(図面番号：) 先付け材料・仕上げ材()・建具枠() ・ゴンドラ用ガイドレール()・() 製品の寸法許容差等・標準仕様書[表17. 3. 1]による・() 表面仕上げ材・磁器質タイル 石材(・花こう岩・大理石・()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 3. 2]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：)																																				
2. 見本の製作等 (16. 1. 4)	建具見本の製作・実施する 特殊な建具の仮組・実施する		⑩木製建具 (16. 7. 2) (16. 7. 3) (表16. 7. 1) (表16. 7. 2) (表16. 7. 6) (表16. 7. 7)	建具材の含水率○A種・B種 フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材 ・合板(・普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板) ○MDF区分(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) ○図面(図面番号： A-25)		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー○製作する・製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス・要○不要 鍵の製作本数等○3本一組とし、室名札を付ける・()		17 カー テン ウ ォ ール 工 事		1. 種類 (17. 1. 1) (17. 1. 3) 2. 性能等 (17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 3. メタルカーテン ウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (表17. 2. 1) (17. 2. 5) (17. 2. 6) (表17. 2. 2) (表17. 2. 3) 4. PCカーテン ウォール (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 4) (17. 3. 5) (17. 3. 6) (表17. 3. 1) (表17. 3. 2)	・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール 耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類() 断熱材() カーテンウォールの材料 材料規格等見え掛り部の仕上げ映像調整 ・アルミニウム製・標準仕様書[16. 2. 3] ・()・() 製品の寸法許容差・標準仕様書[表17. 2. 1] ガラス溝の寸法、形状等・製造所の仕様による ・図示(図面番号：) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 2]・() カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 3]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：) カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質・図示(図面番号：) 鉄筋・SD295A・() 補強鉄線の径、網目寸法・図示(図面番号：) 耐火目地材・() 配筋・図示(図面番号：) 先付け材料・仕上げ材()・建具枠() ・ゴンドラ用ガイドレール()・() 製品の寸法許容差等・標準仕様書[表17. 3. 1]による・() 表面仕上げ材・磁器質タイル 石材(・花こう岩・大理石・()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 3. 2]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：)																																				
3. 防犯建物部品 (16. 1. 6)	防犯建物部品・図示(図面番号：)		⑩木製建具 (16. 7. 2) (16. 7. 3) (表16. 7. 1) (表16. 7. 2) (表16. 7. 6) (表16. 7. 7)	建具材の含水率○A種・B種 フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材 ・合板(・普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板) ○MDF区分(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) ○図面(図面番号： A-25)		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー○製作する・製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス・要○不要 鍵の製作本数等○3本一組とし、室名札を付ける・()			17 カー テン ウ ォ ール 工 事	1. 種類 (17. 1. 1) (17. 1. 3) 2. 性能等 (17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 3. メタルカーテン ウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (表17. 2. 1) (17. 2. 5) (17. 2. 6) (表17. 2. 2) (表17. 2. 3) 4. PCカーテン ウォール (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 4) (17. 3. 5) (17. 3. 6) (表17. 3. 1) (表17. 3. 2)	・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール 耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類() 断熱材() カーテンウォールの材料 材料規格等見え掛り部の仕上げ映像調整 ・アルミニウム製・標準仕様書[16. 2. 3] ・()・() 製品の寸法許容差・標準仕様書[表17. 2. 1] ガラス溝の寸法、形状等・製造所の仕様による ・図示(図面番号：) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 2]・() カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 3]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：) カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質・図示(図面番号：) 鉄筋・SD295A・() 補強鉄線の径、網目寸法・図示(図面番号：) 耐火目地材・() 配筋・図示(図面番号：) 先付け材料・仕上げ材()・建具枠() ・ゴンドラ用ガイドレール()・() 製品の寸法許容差等・標準仕様書[表17. 3. 1]による・() 表面仕上げ材・磁器質タイル 石材(・花こう岩・大理石・()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 3. 2]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：)																																				
④防火戸製造建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (表16. 2. 1) (表16. 2. 2) (表14. 2. 2) (16. 2. 5)	外部建具の性能等級等 コンクリート系下地、鉄骨下地 ・A種○B種・C種・() 木下地 ・D種・E種・() 表面処理種別・()○標準色・特注色 内部建具 表面処理種別・()○標準色・特注色		⑩木製建具 (16. 7. 2) (16. 7. 3) (表16. 7. 1) (表16. 7. 2) (表16. 7. 6) (表16. 7. 7)	建具材の含水率○A種・B種 フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材 ・合板(・普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板) ○MDF区分(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) ○図面(図面番号： A-25)		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー○製作する・製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス・要○不要 鍵の製作本数等○3本一組とし、室名札を付ける・()		17 カー テン ウ ォ ール 工 事		1. 種類 (17. 1. 1) (17. 1. 3) 2. 性能等 (17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 3. メタルカーテン ウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (表17. 2. 1) (17. 2. 5) (17. 2. 6) (表17. 2. 2) (表17. 2. 3) 4. PCカーテン ウォール (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 4) (17. 3. 5) (17. 3. 6) (表17. 3. 1) (表17. 3. 2)	・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール 耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類() 断熱材() カーテンウォールの材料 材料規格等見え掛り部の仕上げ映像調整 ・アルミニウム製・標準仕様書[16. 2. 3] ・()・() 製品の寸法許容差・標準仕様書[表17. 2. 1] ガラス溝の寸法、形状等・製造所の仕様による ・図示(図面番号：) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 2]・() カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 3]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：) カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質・図示(図面番号：) 鉄筋・SD295A・() 補強鉄線の径、網目寸法・図示(図面番号：) 耐火目地材・() 配筋・図示(図面番号：) 先付け材料・仕上げ材()・建具枠() ・ゴンドラ用ガイドレール()・() 製品の寸法許容差等・標準仕様書[表17. 3. 1]による・() 表面仕上げ材・磁器質タイル 石材(・花こう岩・大理石・()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 3. 2]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：)																																				
④防火戸製造建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (表16. 2. 1) (表16. 2. 2) (表14. 2. 2) (16. 2. 5)	外部建具の性能等級等 コンクリート系下地、鉄骨下地 ・A種○B種・C種・() 木下地 ・D種・E種・() 表面処理種別・()○標準色・特注色 内部建具 表面処理種別・()○標準色・特注色		⑩木製建具 (16. 7. 2) (16. 7. 3) (表16. 7. 1) (表16. 7. 2) (表16. 7. 6) (表16. 7. 7)	建具材の含水率○A種・B種 フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材 ・合板(・普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板) ○MDF区分(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) ○図面(図面番号： A-25)		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー○製作する・製作しない ・監督員と協議の上システムを決定する キーボックス・要○不要 鍵の製作本数等○3本一組とし、室名札を付ける・()			17 カー テン ウ ォ ール 工 事	1. 種類 (17. 1. 1) (17. 1. 3) 2. 性能等 (17. 1. 3) (17. 2. 2) (17. 3. 2) 3. メタルカーテン ウォール (17. 2. 2) (17. 2. 3) (表17. 2. 1) (17. 2. 5) (17. 2. 6) (表17. 2. 2) (表17. 2. 3) 4. PCカーテン ウォール (17. 3. 2) (17. 3. 3) (17. 3. 4) (17. 3. 5) (17. 3. 6) (表17. 3. 1) (表17. 3. 2)	・メタルカーテンウォール ・PCカーテンウォール 耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類() 断熱材() カーテンウォールの材料 材料規格等見え掛り部の仕上げ映像調整 ・アルミニウム製・標準仕様書[16. 2. 3] ・()・() 製品の寸法許容差・標準仕様書[表17. 2. 1] ガラス溝の寸法、形状等・製造所の仕様による ・図示(図面番号：) 取付け 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 2]・() カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 2. 3]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：) カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質・図示(図面番号：) 鉄筋・SD295A・() 補強鉄線の径、網目寸法・図示(図面番号：) 耐火目地材・() 配筋・図示(図面番号：) 先付け材料・仕上げ材()・建具枠() ・ゴンドラ用ガイドレール()・() 製品の寸法許容差等・標準仕様書[表17. 3. 1]による・() 表面仕上げ材・磁器質タイル 石材(・花こう岩・大理石・()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・標準仕様書[表17. 3. 2]・() ガラスの取付け・図示(図面番号：)																																				
④防火戸製造建具 (16. 2. 2) (16. 2. 4) (表16. 2. 1) (表16. 2. 2) (表14. 2. 2) (16. 2. 5)	外部建具の性能等級等 コンクリート系下地、鉄骨下地 ・A種○B種・C種・() 木下地 ・D種・E種・() 表面処理種別・()○標準色・特注色 内部建具 表面処理種別・()○標準色・特注色		⑩木製建具 (16. 7. 2) (16. 7. 3) (表16. 7. 1) (表16. 7. 2) (表16. 7. 6) (表16. 7. 7)	建具材の含水率○A種・B種 フラッシュ戸、戸ぶすまの表面材 ・合板(・普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板) ○MDF区分(表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性) ○図面(図面番号： A-25)		⑪建具用金物 (16. 8. 2) (表16. 8. 1) (16. 8. 3) (16. 8. 4) (表16. 8. 2) (表16. 8. 3) (表16. 8. 4) (表16. 8. 5)	金物の種類、見え掛かり部等の材質等 ○標準仕様書[表16. 8. 1]・図示(図面番号：) 表16. 8. 1中の*印の適用及び備考中の特記について ・図示(図面番号：) 丁番の枚数、大きさ 金属製建具○標準仕様書[表16. 8. 2]・() 樹脂製建具・標準仕様書[表16. 8. 3]・() 木製建具○標準仕様書[表16. 8. 4]・() 戸車、レールの外径等○標準仕様書[表16. 8. 5]・() レバーハンドル、クレセント等の取付け位置 ○図示(図面番号： A-25) マスターキー																																									

(2)排水工事

(3)

地業の材料
砂
・山砂　・川砂　・砕砂　　 ・（ ）
砂利

○再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込碎石

試験　・砂の粒度試験

(4)

埋め戻し土
A種　○B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土

5.

施工場所打ち排水樹の足掛け金物の材料
・ステンズ製(幅400mm、径22mm)　・鉄製(径22mm、防錆処置済み)
・合成樹脂被膜加工を行ったもの(径19mm)　・図示(図面番号：)
遠心力鉄筋コンクリート管
基床の厚さ、種類　　　・図示(図面番号：)
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類　　　・図示(図面番号：)
継手　　　　　　　　　・接着剤　　　・ゴム輪

6.

街きょ緑石、側溝
緑石、側溝
種類、形状、寸法　　　・図示(図面番号：)
砂利地業
寸法　・100mm　・図示(図面番号：)

②植栽工事

1.路床
(表22.2.1)遮断層　・川砂　・海砂又は良質な山砂
(表22.2.2)凍上抑制層　・切込み砂利　・砂　・()
(表22.2.3)フィルター層　・砂
(表22.2.4)路床安定処理　・行う
(表22.2.5)添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種　・生石灰()号
・消石灰()号
添加量()kg/m³(目標CBR　・5以上　・())
盛土に用いる材料
・A種　・B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土
C種の場合：建設発生土受入量()m³
片道の運搬距離()km
試験　・路床土の支持力比(CBR)試験
・路床締固め度の試験
・現場CBR試験

2.路盤
(表22.3.1)舗装の種類
(表22.3.2)カラー舗装
(表22.3.3)透水性アスファルト舗装
インターロッキングブロック舗装
・()

3.アスファルト舗装
(表22.4.1)～(表22.4.6)舗装の構成及び厚さ　・A-5-15　・図示(図面番号：)
平坦性　・A-3-10　・()
通行の支障となる水たまりを生じない程度
・図示(図面番号：)
再生アスファルトの種類　・60～80　・80～100　・図示(図面番号：)
表面の種類
密粒度アスファルト混合物(13)　・細粒度アスファルト混合物(13)
・()
試験　・アスファルト混合材等の抽出試験

4.コンクリート舗装
(表22.5.1)～(表22.5.6)舗装の構成及び厚さ　・図示(図面番号：)
平坦性　・通行の支障となる水たまりを生じない程度
・図示(図面番号：)
コンクリートの種類　・普通コンクリート　・図示(図面番号)
設計基準強度等　・標準仕様書〔表22.5.1〕　・()
早強セメント　・使用する
注入目地材料　・低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地　・種類()　・間隔()
・標準仕様書〔表22.5.3〕
目地の構造　・標準仕様書〔図22.5.1〕　・図示(図面番号：)

5.

カラー舗装
(表22.6.1)～(表22.6.7)種類
加熱系　構成及び厚さ()
結合材　・アスファルト　・石油樹脂系(顔料の添加量：)
添加材　・着色骨材　・自然石
常温系
工法　・ニード工法　・塗布工法
着色部下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
ニード工法及び塗布工法の配合その他　・図示(図面番号：)
試験　・アスファルト混合物等の抽出試験

6.透水性アスファルト舗装
(表22.7.1)～(表22.7.2)舗装構成　・図示(図面番号：)
平坦性　・著しい不陸がないこと　・図示(図面番号：)

7.ブロック系舗装
(表22.8.1)～(表22.8.3)舗装の種類
寸法(mm)　・300角
厚さ(mm)　・60
備考　・目地　・砂　・モルタル
表面加工　・研ぎ出し　・洗い出し　・たたき出し
・インターロックングブロック舗装　・普通ブロック　・透水ブロック　・車道部　・歩道部
・小舗石　・花こう岩　・()
・植生用ブロック　・80・100
・舗石舗装　・小舗石　・花こう岩　・()
・80～100
施工方法　・うろこ張り　・()
基層　・コンクリート舗装　・アスファルト舗装
基層の厚さ　・() mm
コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材
・砂　・空練りモルタル　・図示(図面番号：)
平坦性　・平板等の段差3mm以内　・図示(図面番号：)

8.砂利敷き
(表22.9.1)～(表22.9.2)通路部　・A種　・B種　・()
建物周囲　・A種　・B種　・()

③芝張り、吹付けは種及び地被類
(表23.4.2)～(表23.4.7)種類　・コウライシバ　・ノシバ　・()
吹付けは種用種子　種類　・標準仕様書[23.4.2](3)(7)後段
・図示(図面番号：)
量　・()　・図示(図面番号：)
地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数
・図示(図面番号：)
芝張り工法
平地　・目地張り　・べた張り　・図示(図面番号：)
法面　・目地張り　・べた張り　・図示(図面番号：)
芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間
引渡日から1年間　・()
植裁基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示(図面番号：)
排水層　・軽量の骨材(層の厚さ：)　・板状成形品
植込み用土　改良土　人工軽量土
樹種・種類、寸法、株立数、刈込み
・図示(図面番号：)
芝及び地被類の樹種並びに種類等
図示(図面番号：)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・図示(図面番号：)
風圧力に対応した工法(建設省告示第1458号)
・図示(図面番号：)
支柱　・図示(図面番号：)
かん水装置　・図示(図面番号：)
新植樹木の枯補償期間
・引渡日から1年間　・図示(図面番号：)
芝及び地被類の枯補償期間
・引渡日から1年間　・図示(図面番号：)

1.旗竿
(表23.5.1)～(表23.5.2)材質　・アルミニウム製　・()
形式　テーパー付き　ロープ式　ハンドル式
脚部　・埋込式　ベース式
高さ　・5m　・6m　・7m
ネットフェンス
網材種(○樹脂皮膜　工場塗装　・())
メッシュフェンス
網材種(○樹脂皮膜　工場塗装　・())
格子フェンス
網材種(・樹脂皮膜　工場塗装　・())

外構工事

④

工事名称

図面名

縮尺

日付

訂正

担当

承認

備考

A2 : N/S

原図 : A 2

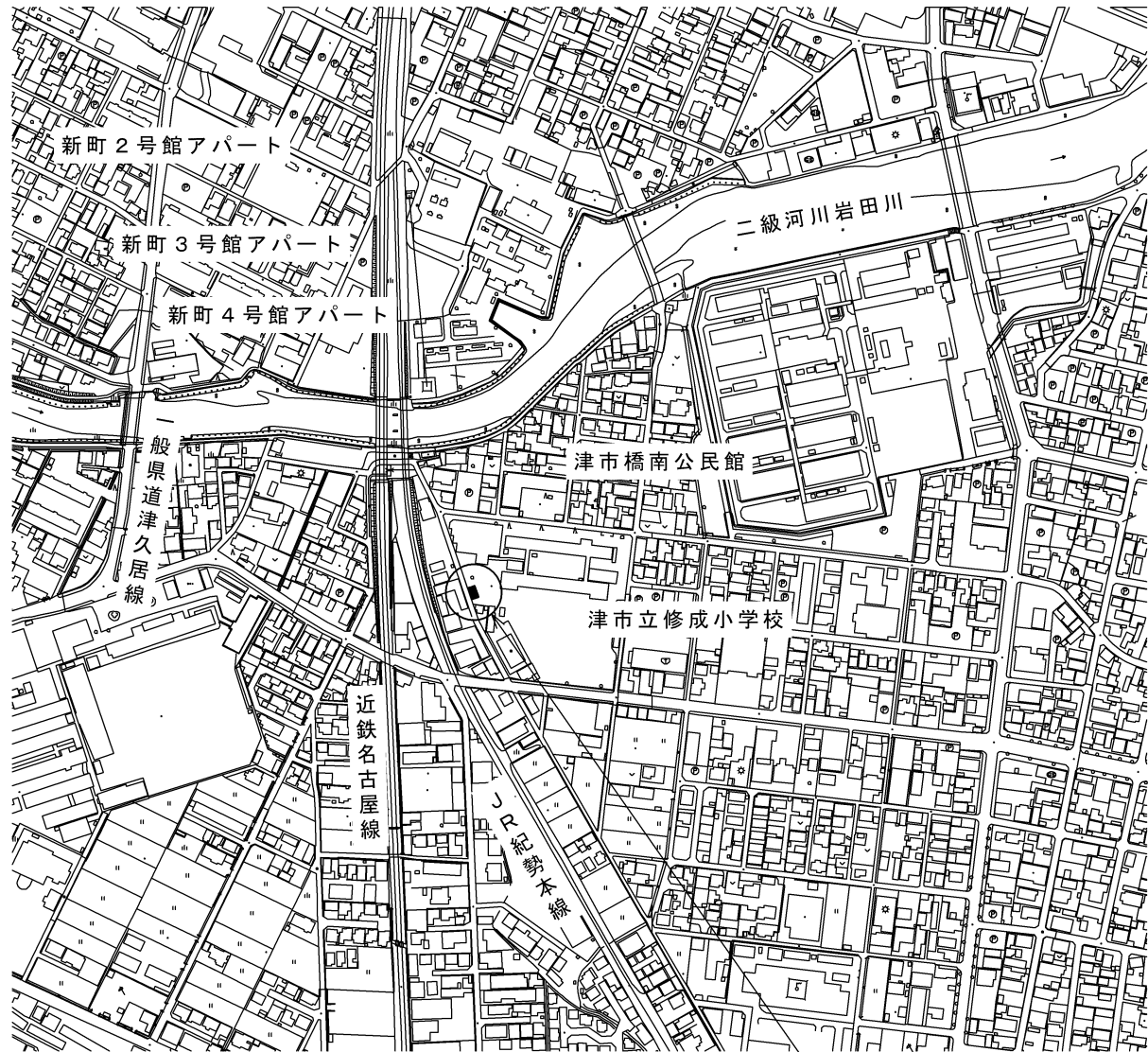
一級建築士登録

297978

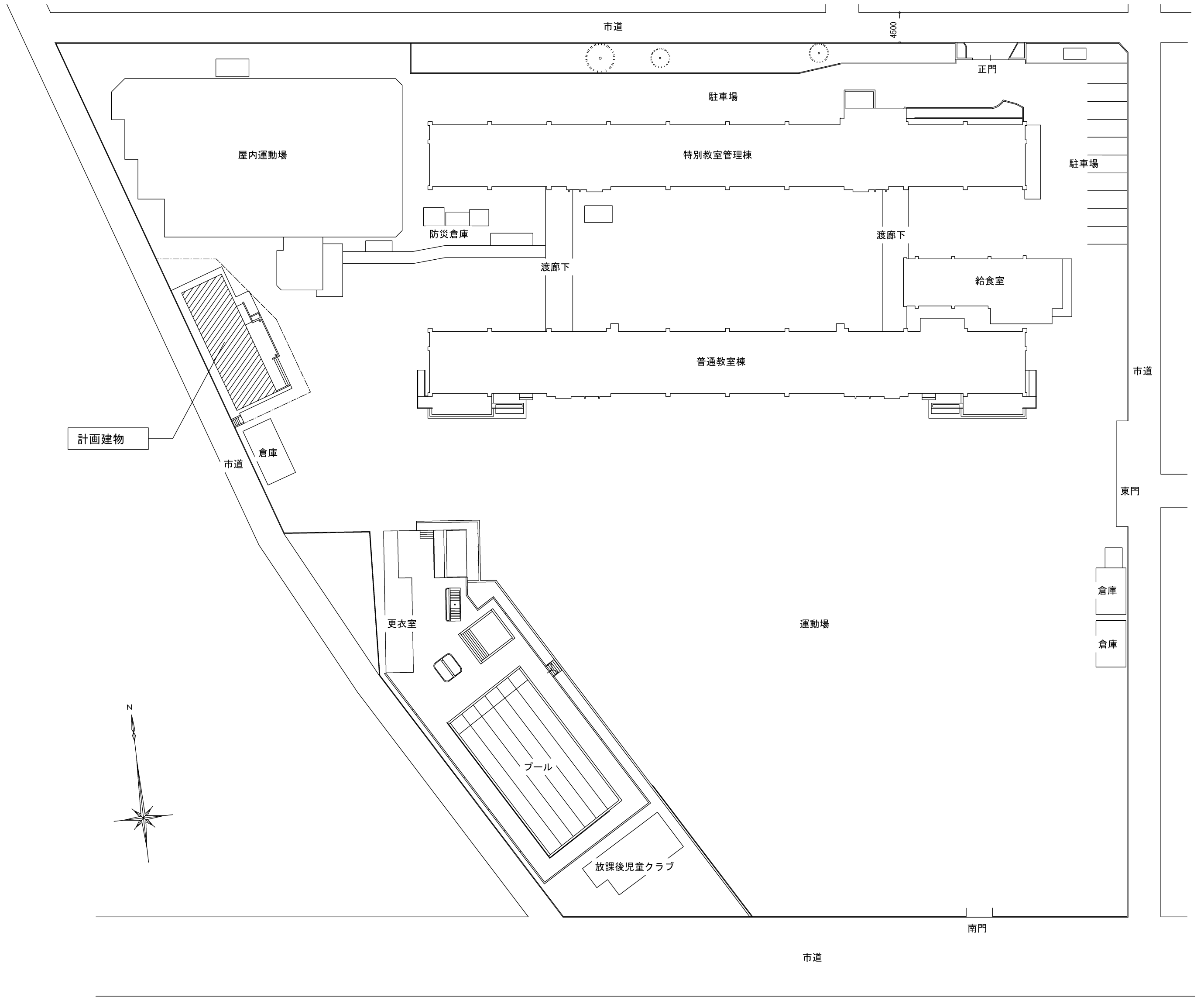
AーO 8

総合仮設・直接仮設 工事区分					
工事	工 種	項 目	工事区分		
			建築・電気	機械	
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所 同備品			
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○	共同1棟可
		仮設便所	○	○	共同1棟可
	工事施設	仮囲い	○		
	現場安全	安全費	○	○	統括安全衛生管理は、 建築受注者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○	
		揚重機費	○	○	
	その他	各種試験費	○	○	
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○	
		周辺道路清掃	○	○	
直接仮設工事		仮設足場	○		設備業者に対して 無償にて使用させること。
		清掃・片付け	○	○	
		養生	○	○	

工 事 区 分											
No.	項 目		建築	電気	機械	No.	項 目		建築	電気	機械
1	機械基礎及びその仕上		○			28	避難器具				
2	鉄筋コンクリート造の設備工事に 関するスリーブ及び箱入れ、穴埋め		○		○	29	受水槽・その他の水槽等のコンクリート 躯体・断熱及び防水工事				
3	同上鉄筋補強		○			30	同上内部仕上・マンホール及び タラップ				
4	鉄骨造の設備工事に関するスリーブ 及び補強		○			31	オイルトラップ				
5	機器取付用アンカー・架台		○		○	32	排水溝 雨水排水竖樋		○		
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強					33	雨水排水竖樋の柵までの横引き 柵及び柵蓋				○
7	軽量鉄骨下地天井、	補強	○			34	雨水配管の防露工事				
	壁ボード類の切込	切込	○		○	35	ピット・トレンチ内の排水設備工事				
8	埋込分電盤	補強	○			36	浴室及び便所の排水目皿及び 排水設備工事				○
	端子盤 プルボックス	切込	○		○	37	陶製以外の流し類（業務用等の厨房流し を除く）		○		
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強		○		○	38	同上 附属金物及び接続工事				○
10	設備工事に伴う防水貫通用屋上スラブ コンクリート立上げ					39	浴槽				
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞		○		○	40	鏡（衛生工事に関連しない場合・特殊 寸法の場合）				
12	屋内外ピット・トレンチ及びそれらの蓋 マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋		○		○	41	建物外内壁・ドア・窓枠に取付ける ガラリ類（ガラリ取付け本枠等も含む）		○		
13	屋外配管用スタンション		○		○	42	ウェザーカバー・ベントキャップ				○
14	二重スラブ内の水及び空気の漏通管 二重壁内の湧水処理費					43	洗面カウンター				
15	大理石・テラゾー・ALC・PC・RC版・鋼板 などの穴あけ		○		○	44	消火器		○		
16	同上 穴あけに伴う補強		○			45	衛生器具ユニット				○
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い		○		○	46	エレベーター機械室の天井フック取付 ・床穴あけ及び床増内コンクリート				
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカ ・換気扇等の穴あけ		○		○	47	吊ボルト用インサート		○		○
19	同上 天井穴あけ部の下地補強		○			48	別途機器などへの接続 （直接に接続するもの）				
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの 点検口		○			49	付属の制御盤以降の配管・配線 （接地等）				○
21	流し台・吊戸棚・IHコンロ・レンジフード		○			50	付属の制御盤への電源供給及び操作 回路の渡り配管・配線		○		
22	ユニットシステム（バス・トイレ・キッチン）への配管・配線及び接続		○		○	51	エアコンのリモコン配管、配線 制御配線				○
23	保守用キャットウォーク・タラップ手摺 （設備機器に装着するものを除く）					52	煙感知機から連動制御盤を経て防煙ダ ンパに至る配管・配線				
24	換気扇（取付枠共）				○	53	小便器用節水装置の制御盤以降の配管 配線				○
25	同上 穴あけに伴う補強		○				電力		○		○
26	配電盤・制御盤等の基礎（屋内外）						用水		○		○
27	ルーフファン										

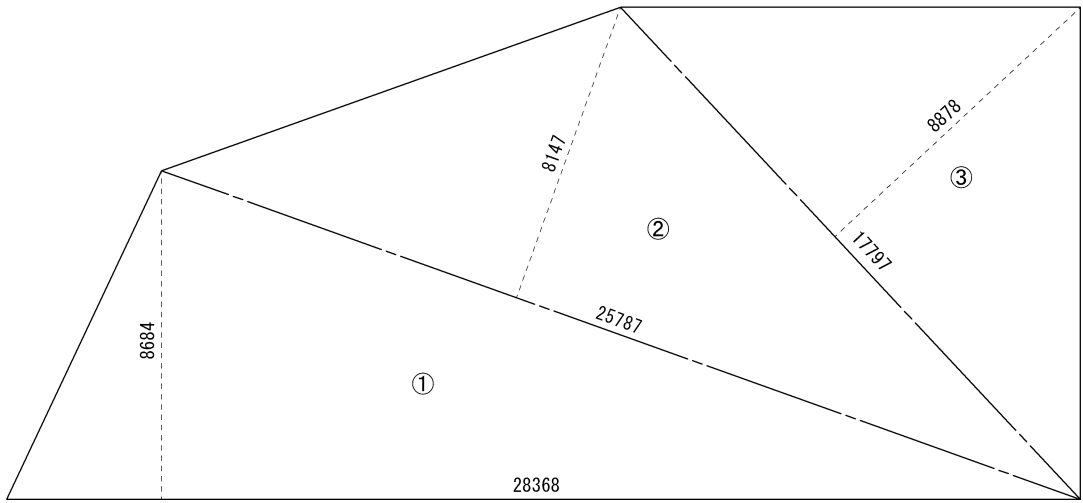


工事箇所



学校用地全体図 S=1/500

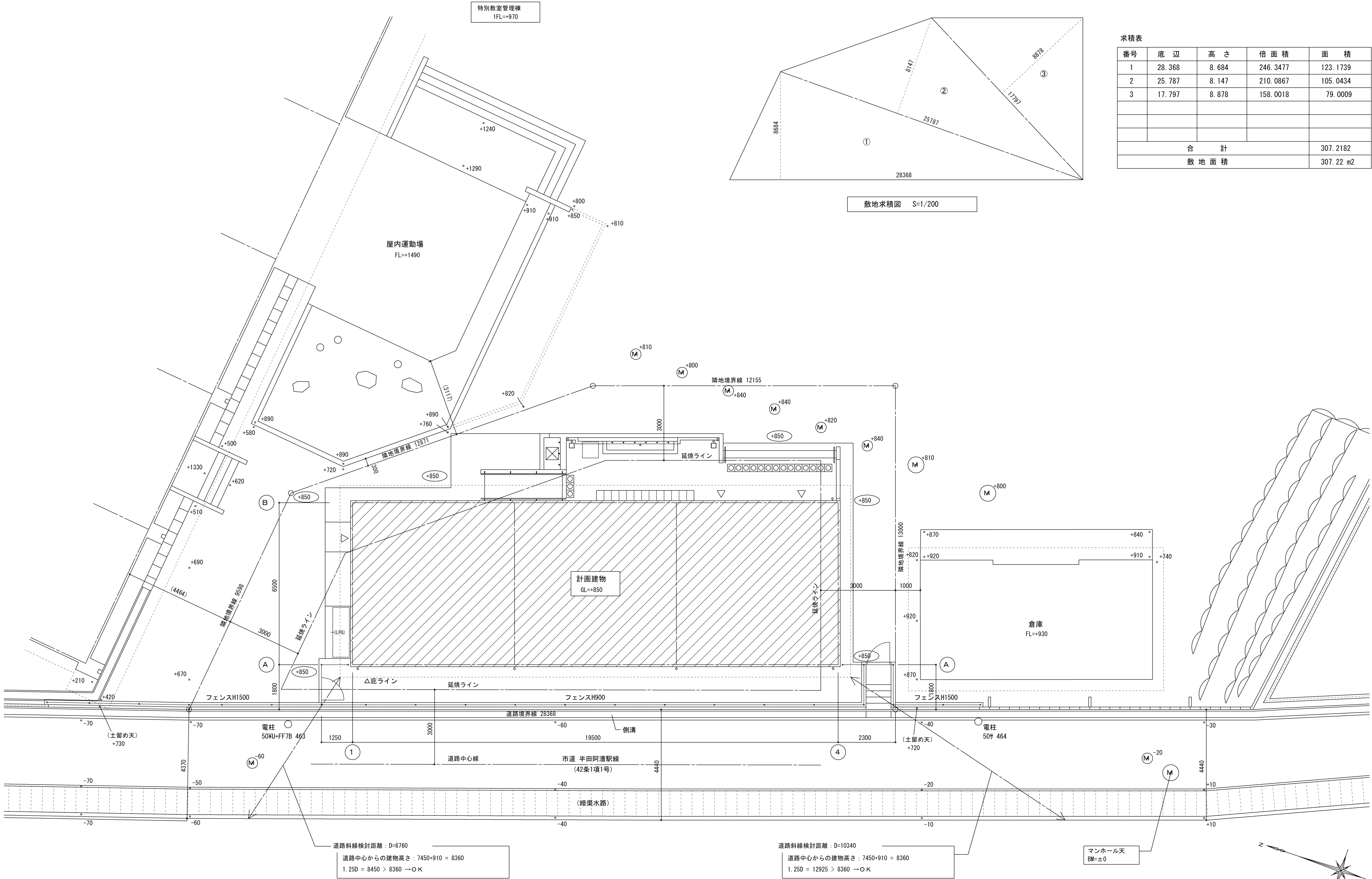
特別教室管理棟
1FL=+970



敷地求積図 S=1/200

求積表

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	28.368	8.684	246.3477	123.1739
2	25.787	8.147	210.0867	105.0434
3	17.797	8.878	158.0018	79.0009
合 計				307.2182
敷 地 面 積				307.22 m2



道路斜線検討距離: D=6760
道路中心からの建物高さ: 7450+910 = 8360
1.250 = 8450 > 8360 →OK

道路斜線検討距離: D=10340
道路中心からの建物高さ: 7450+910 = 8360
1.250 = 12925 > 8360 →OK

マンホール天
BM=±0

***: 計画レベルを示す

建築面積			1階床面積			2階床面積		
①	19.50×6.50	126.75	洋室	2.50×2.10+11.80×6.50+2.20×3.80	90.31	洋室	2.50×2.10+12.00×6.50+2.00×4.30	91.85
②	5.70×2.30	13.11	静養スペース	2.50×1.80	4.50	静養スペース	2.50×1.80	4.50
③	5.00×0.80	4.00	倉庫	2.50×2.60	6.50	倉庫	2.50×2.60	6.50
			便所1	2.20×1.60	3.52	便所3	2.00×1.10	2.20
			便所2	2.20×1.10	2.42	便所4	2.00×1.10	2.20
			ホール	3.00×6.50	19.50	ホール	3.00×6.50	19.50
			室内面積の計		126.75	室内面積の計		126.75
			通路(外部)	6.30×2.70	17.01			
			1階床面積		143.76	2階床面積		126.75
計		143.86	延べ床面積					270.51

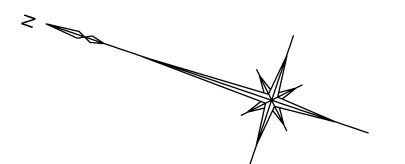
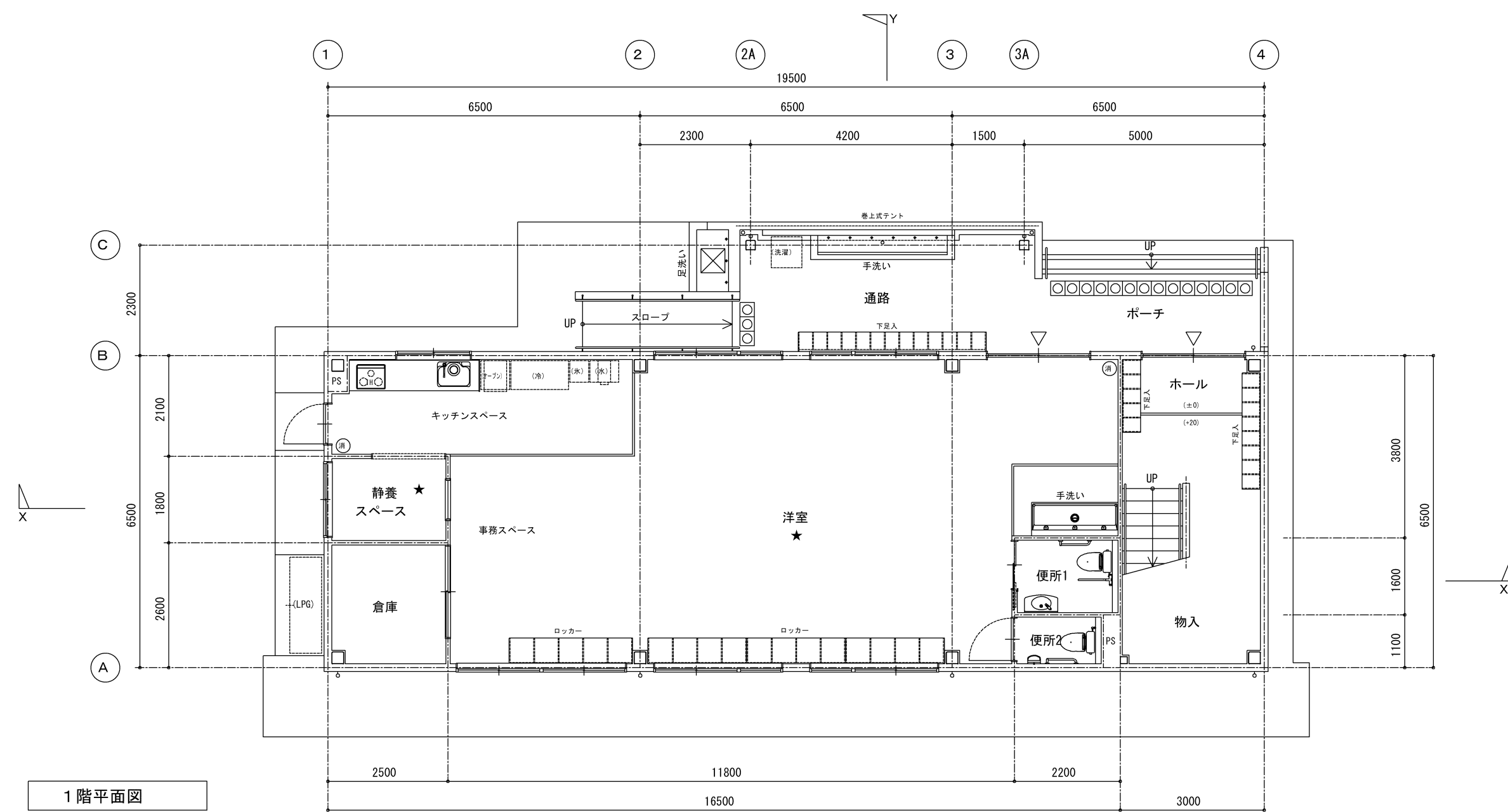
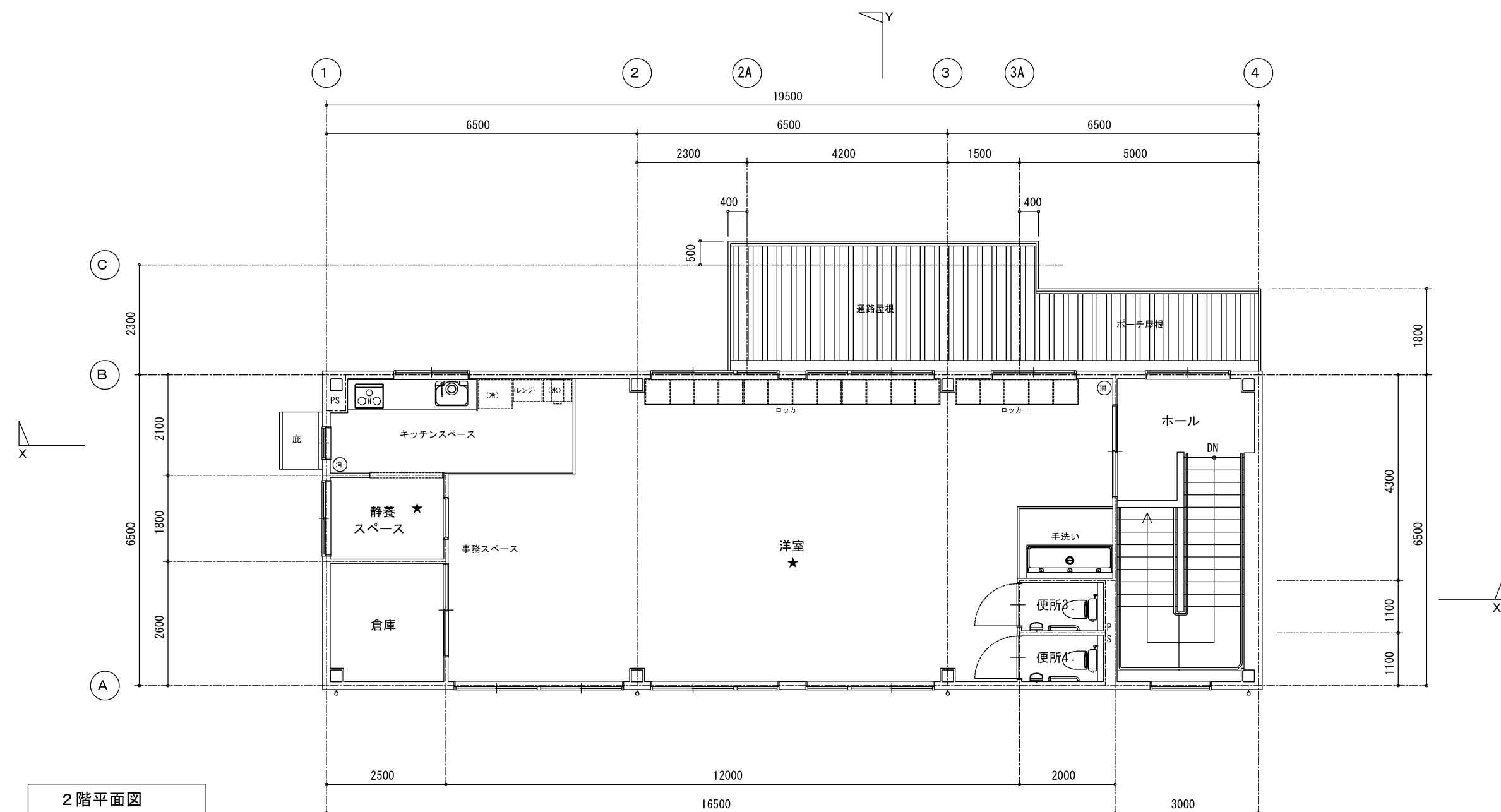
法規チェック											
階	室名	室面積	採光 (1/20)			換気 (1/20)			令116条の2の二 (1/50)		
			必要面積	算定式	判定	必要面積	算定式	判定	必要面積	算定式	判定
1階	洋室	90.31	4.52	AW-1×2 (1.70+0.84)×1.40×2=7.11	○K	4.52	AW-1×2 1.70×1.40×1/2×2=2.38 AW-3 1.70×1.40×1/2×2=2.38 計 4.76	○K	1.81	AW-1×2 1.70×0.65×1/2×2=1.10 AW-3 1.70×0.65×1/2×2=1.10 計 2.20	○K
	静養スペース	4.50	0.23	AW-5 1.50×1.15=1.72	○K	0.23	AW-5 1.50×1.15×1/2=0.86	○K	0.10	AW-5 1.50×0.65×1/2=0.48	○K
	倉庫	6.50		非居室			非居室			非居室	
	便所1	3.52		非居室			令28条による換気設備設置			非居室	
	便所2	2.42		非居室			令28条による換気設備設置			非居室	
	ホール	19.50		非居室			非居室			非居室	
2階	洋室	91.85	4.60	AW-1×2 (1.70+0.84)×1.40×2=7.11	○K	4.60	AW-1×2 1.70×1.40×1/2×2=2.38 AW-3 1.70×1.40×1/2×2=2.38 計 4.76	○K	1.84	AW-1×2 1.70×0.65×1/2×2=1.10 AW-3 1.70×0.65×1/2×2=1.10 計 2.20	○K
	静養スペース	4.50	0.23	AW-5 1.50×1.15=1.72	○K	0.23	AW-5 1.50×1.15×1/2=0.86	○K	0.10	AW-5 1.50×0.65×1/2=0.48	○K
	倉庫	6.50		非居室			非居室			非居室	
	便所3	2.20		非居室			令28条による換気設備設置			非居室	
	便所4	2.20		非居室			令28条による換気設備設置			非居室	
	ホール	19.50		非居室			非居室			非居室	

消防法無窓階判定									
階	床面積	開口チェック (1/30)			階 数	床面積	開口チェック (1/30)		
		必要開口面積	有効開口面積	判定			必要開口面積	有効開口面積	判定
1 階	126.75	4.23	AW-1×2 (0.75×1.40+0.79×1.35)×2=4.22 AW-3 0.75×1.40×2=2.10 計 6.32	有意	2 階	126.75	4.23	AW-1×2 (0.75×1.40+0.79×1.35)×2=4.22 AW-3 0.75×1.40×2=2.10 計 6.32	有窓

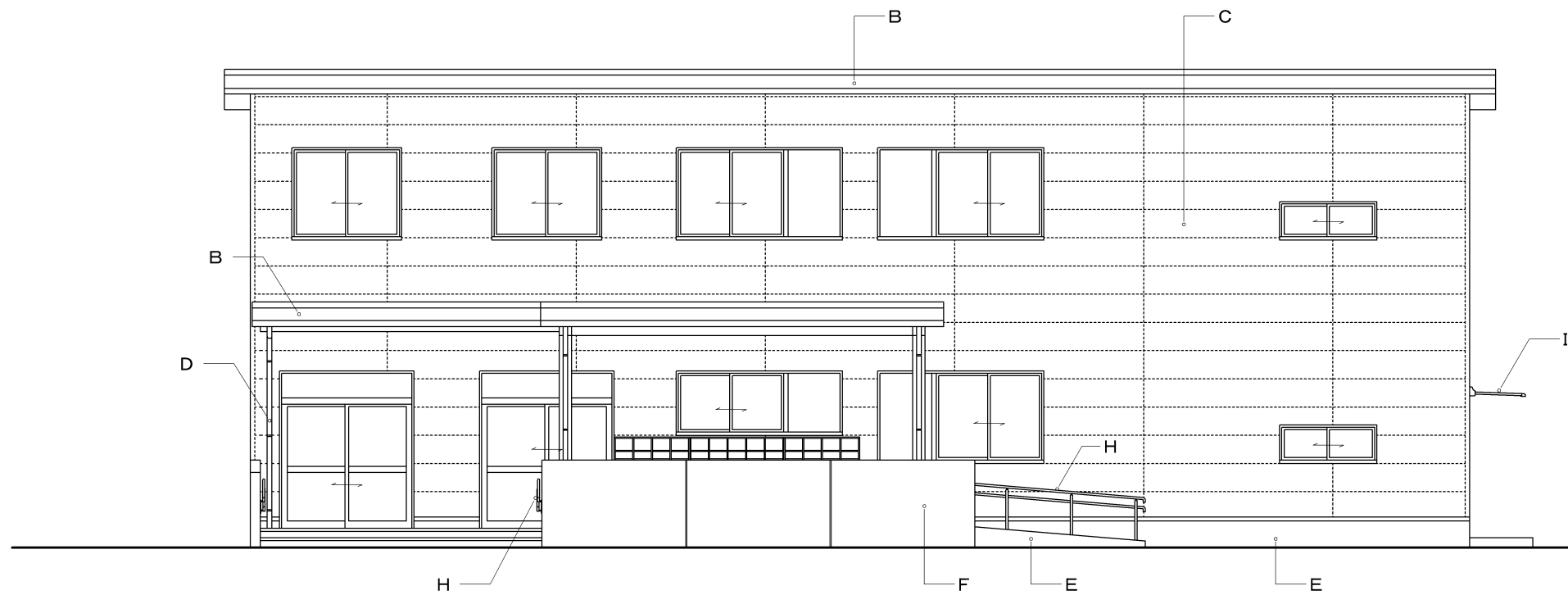
○ 建築概要		○ 外部仕上表			
工 事 名 称	修成地区放課後児童クラブ建築工事	屋 根	カラーガルバリウム鋼板折板葺き t=0.8 H=160ハゼ 換気見切面戸 内部面：無機質高充填断熱材 t=4.0 裏張（不燃材） 上裏：ＤＰ塗装 鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5加工 H=400 ケラバ包み：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5加工	通路・ポーチ	床：モルタル金コテ仕上 排水溝：防水モルタル塗 W100 腰壁：モルタル金コテ仕上げ 鉄部：ＤＰ塗装 下足入・巻上式テント
工 事 場 所	津市修成町 地内				
用 途 地 域	都市計画区域内 第一種住居地域（建ぺい率：60％・容積率：200％）	ポーチ・通路屋根	カラーガルバリウム鋼板折板葺き t=0.8 H=90ハゼ 鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5加工 H=400 上裏：ＤＰ塗装	ポーチ階段	モルタル金コテ仕上 段鼻タイル張 ステンレス２段手摺
防 火 地 域	指定なし	軒 樋	屋根：硬質塩ビ製 角型 W150（カラー）SUS製受け金物 ポーチ・通路屋根：硬質塩ビ製 角型（前高品）W150（カラー）SUS製受け金物	スロープ	床：モルタル金コテ仕上 傾斜部：150角スロープタイル張 ステンレス２段手摺
敷 地 面 積	307.22 m ²	壁 樋	カラーV P φ75 SUS掴み金物 @1200内外	手洗い 洗濯機置場	50角モザイクタイル張
構 造	鉄骨造 2階建	外 壁	透湿防水シートの上窯業系サイディング t=16 横張り（塗装品） 金具留め工法 コーナー部同質役物	足洗い	モルタル金コテ仕上 集水溝：ステンレスグレーチング（細目ノンスリップ）
建 築 面 積	143.86 m ² （建ぺい率：46.83％）	土台水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35	犬走り	モルタル金コテ仕上
延 床 面 積	270.51 m ² （容 積 率：88.05％）	巾 木	モルタル金コテ仕上	勝手口庇	アルミ製軽量庇 W=1200 D=900

○ 内部仕上表								
階	室 名	床	巾 木	壁		天 井	天井高	備 考
				仕 上	下 地			
1階	洋室	複合フローリング t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	木製巾木（桧） H=100	ビニルクロス貼 腰壁：杉壁羽目板張 t=12 C L 塗装	P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2650	ロッカー・模型ブラインド
	キッチンスペース	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2650	SUS床見切・キッチンセットL=2700
	手洗い	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 乾式二重床（断熱材 t=30）	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2650	SUS床見切・SUS手洗い
	静養スペース	複合フローリング t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2400	模型ブラインド・ロールスクリーン・カーテンレール
	倉庫	複合フローリング t=12 乾式二重床（断熱材 t=30）	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2400	
	便所 1	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 乾式二重床（断熱材 t=30）	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5 一部耐水合板 t=12	化粧P B t=9.5	2400	ポストフォーム面台・ビクトサイン
	便所 2	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 乾式二重床（断熱材 t=30）	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5 一部耐水合板 t=12	化粧P B t=9.5	2400	ポストフォーム面台
	ホール	モルタル金コテ仕上	ビニル巾木 H=100	E P 塗装	耐水P B t=12.5 一部P B t=12.5+耐水P B t=9.5	化粧P B t=9.5	2650	SUS上櫃・下足入
	物入	ビニル床シート t=2.5 モルタル金コテ下地	ビニル巾木 H=100	E P 塗装	耐水P B t=12.5	耐水P B t=9.5の上E P 塗装	1150 1050	
2階	洋室	複合フローリング t=12 発泡プラスチック系断熱材 t=33	木製巾木（桧） H=100	ビニルクロス貼 腰壁：杉壁羽目板張 t=12 C L 塗装	P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2650	ロッカー・模型ブラインド
	キッチンスペース	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2650	SUS床見切・キッチンセットL=2700
	手洗い	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2650	SUS床見切・SUS手洗い
	静養スペース	複合フローリング t=12 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2400	模型ブラインド・ロールスクリーン・カーテンレール
	倉庫	複合フローリング t=12 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	P B t=12.5	化粧P B t=9.5	2400	
	便所 3	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5 一部耐水合板 t=12	化粧P B t=9.5	2400	ポストフォーム面台
	便所 4	ビニル床シート t=2.5 耐水合板 t=9下地 発泡プラスチック系断熱材 t=33	ビニル巾木 H=100	メラミン不燃化粧板 t=3	耐水P B t=12.5 一部耐水合板 t=12	化粧P B t=9.5	2400	ポストフォーム面台
	ホール	ビニル床シート t=2.5 モルタル金コテ下地	ビニル巾木 H=100	E P 塗装	耐水P B t=12.5 一部P B t=12.5+耐水P B t=9.5	化粧P B t=9.5	2650	模型ブラインド
	階段	ビニル床シートt=2.5 モルタル金コテ下地	ササラS O P 塗装	E P 塗装	耐水P B t=12.5 一部P B t=12.5+耐水P B t=9.5	耐水P B t=9.5の上E P 塗装	2650	塩ビ製２段手摺

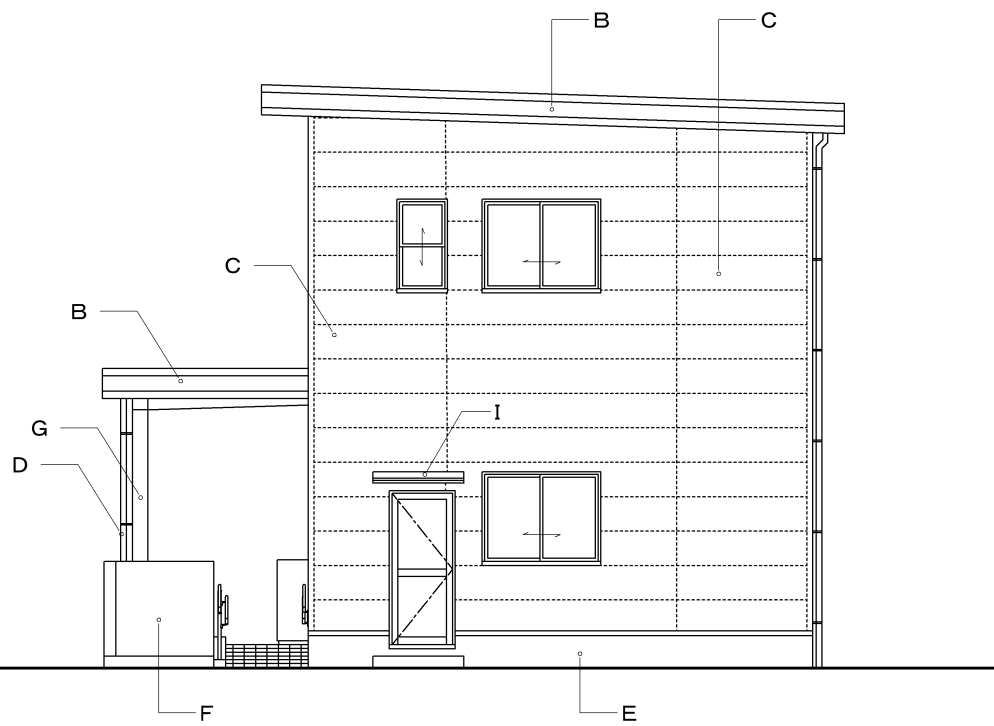
○ 特記事項			○ 認定番号		○ 記号	
・断熱仕様：外部に面する天井・外壁面：グラスウール24K t=100封入 便所内壁面：グラスウール24K t=50封入	・特記なき木部見え掛りはC L 塗装とする	・建築基準法第37条に規定する建築材料を使用する	・P B t=9.5	：QM-9828	・P B	石膏ボード
・特記なき壁・天井下地はL G Sとする 内壁65型、外壁面・柱廻り19型、屋内天井19型、屋外天井25型	・特記なき天井廻縁は塩ビ製コ型とする	・石綿含有建材の使用は無し	・P B t=12.5	：NM-8619	・D P	耐候性塗料塗（JIS K5659）
・床モルタル塗厚 t=30（仕上面まで）	・天井点検口はアルミ枠とし、天井と同仕上げとする	・室内の使用材料はF☆☆☆☆（建具・家具共）、天井裏等はF☆☆☆☆以上 クロルビリホス無使用	・耐水P B t=12.5	：QM-0898	・E P	合成樹脂エマルションペイント塗（JIS K5663 1種）
・複合フローリングは表面単板t=0.25以上 塗装品とする	・ロールスクリーン：ポリエステル標準品ワンタッチチェーン式（防災品）	・カーテン、カーペット、じゅうたん類：防災物品	・化粧P B t=9.5	：QM-0524	・S O P	合成樹脂調合ペイント塗（JIS K5511）
・ビニル床シートは溶接止めとする	・メッシュフェンスのメッシュ巾は40とする	・キッチン1Hヒーターは津市火災予防条例に定める離隔距離を設ける	・メラミン不燃化粧板t=3	：NM-2183	・C L	クリアラッカー塗（JIS K5531）
・ライニング下地はL G S 100とする	・杉材、桧材は全て三重県産材とし、産地証明書を提出すること		・ビニルクロス	QM-0836等 ：準不燃認定品		
・ビニルクロスはA A 級とする						



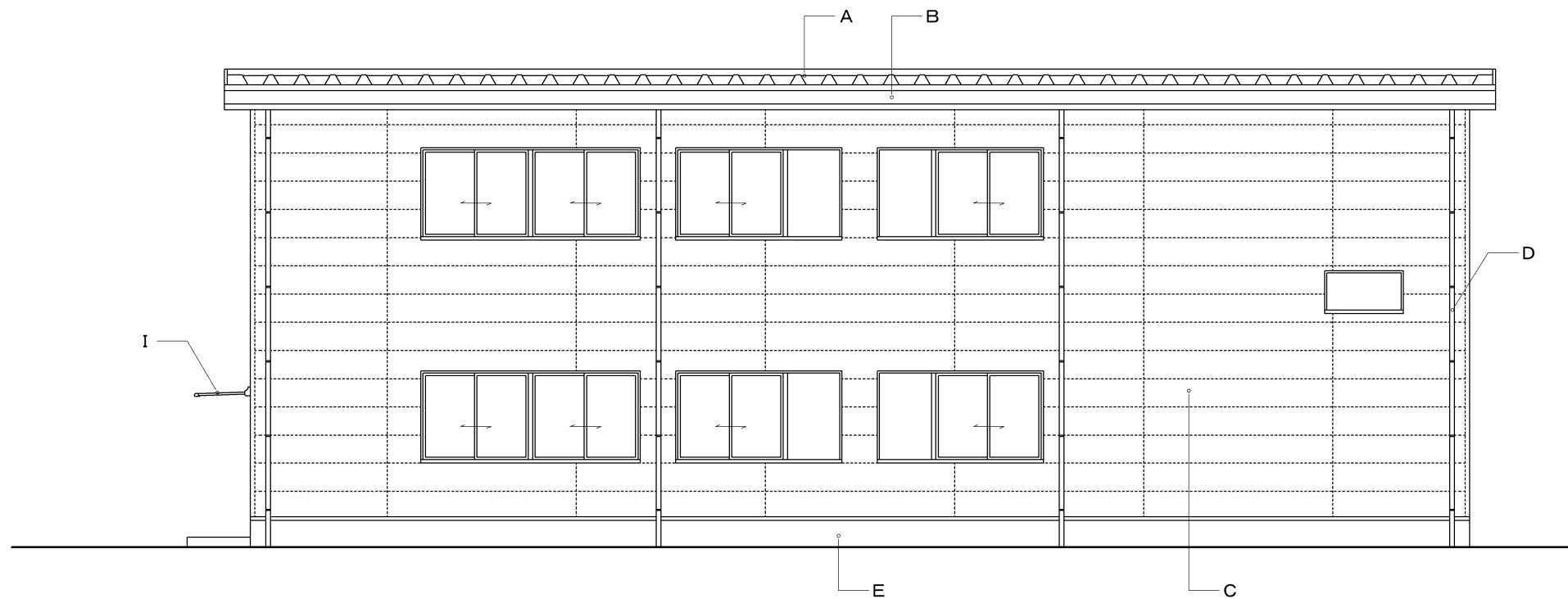
★：室内環境測定箇所を示す
 (消)：消火器 ABC10型 設置スタンド共



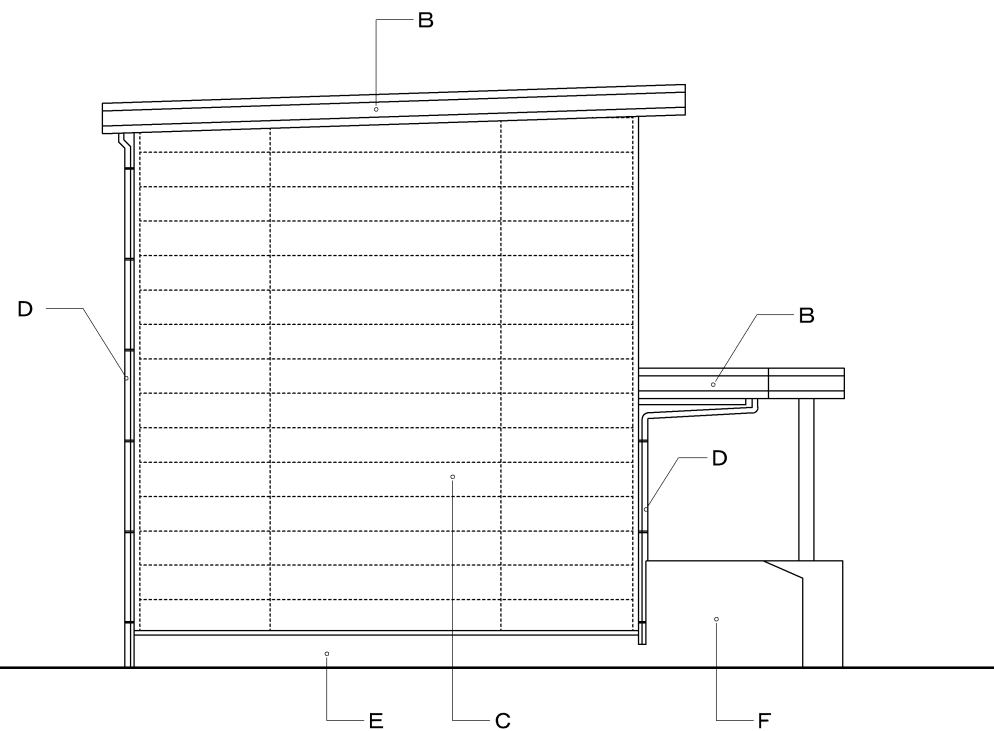
東立面図



北立面図

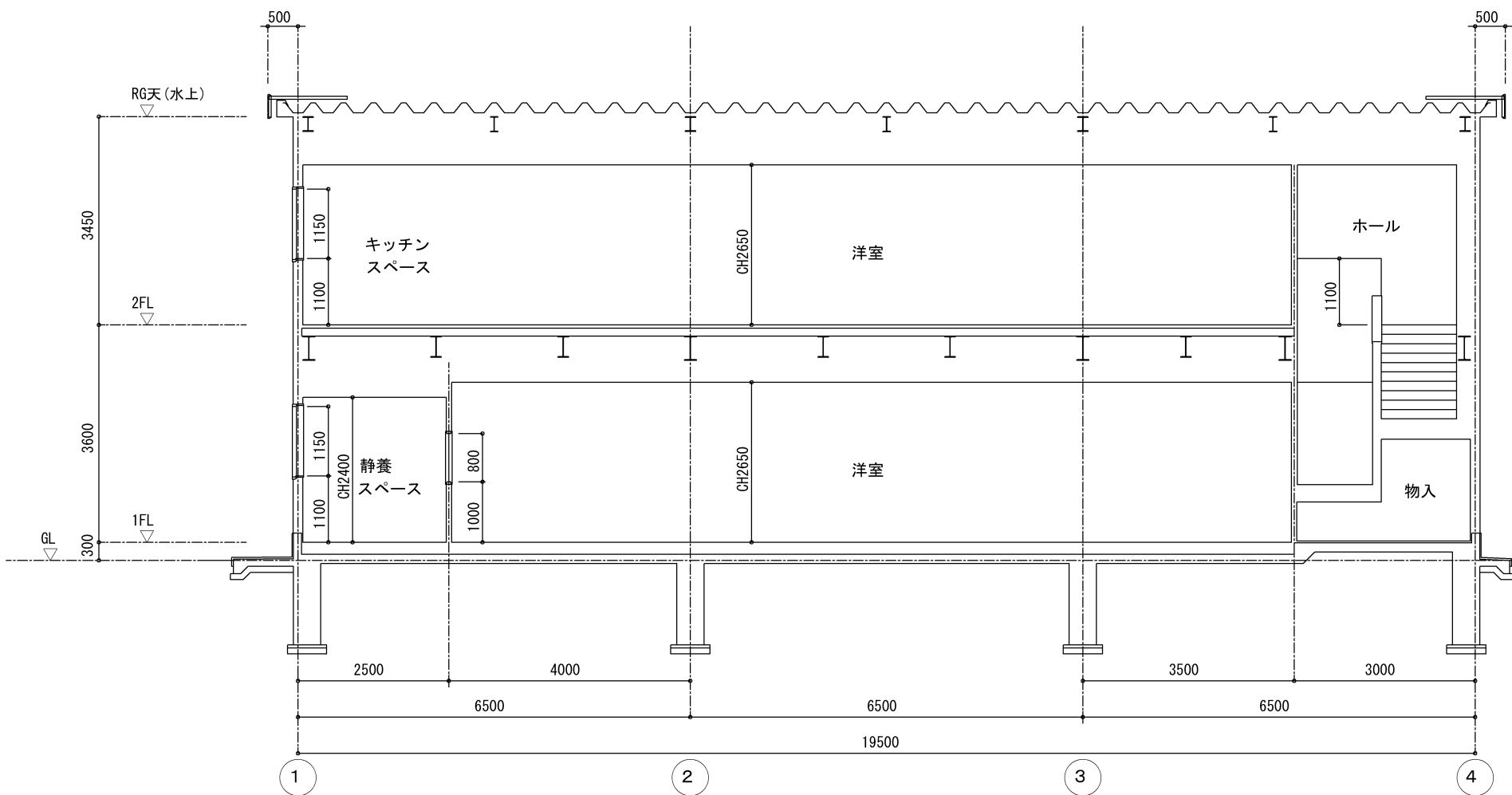


西立面図

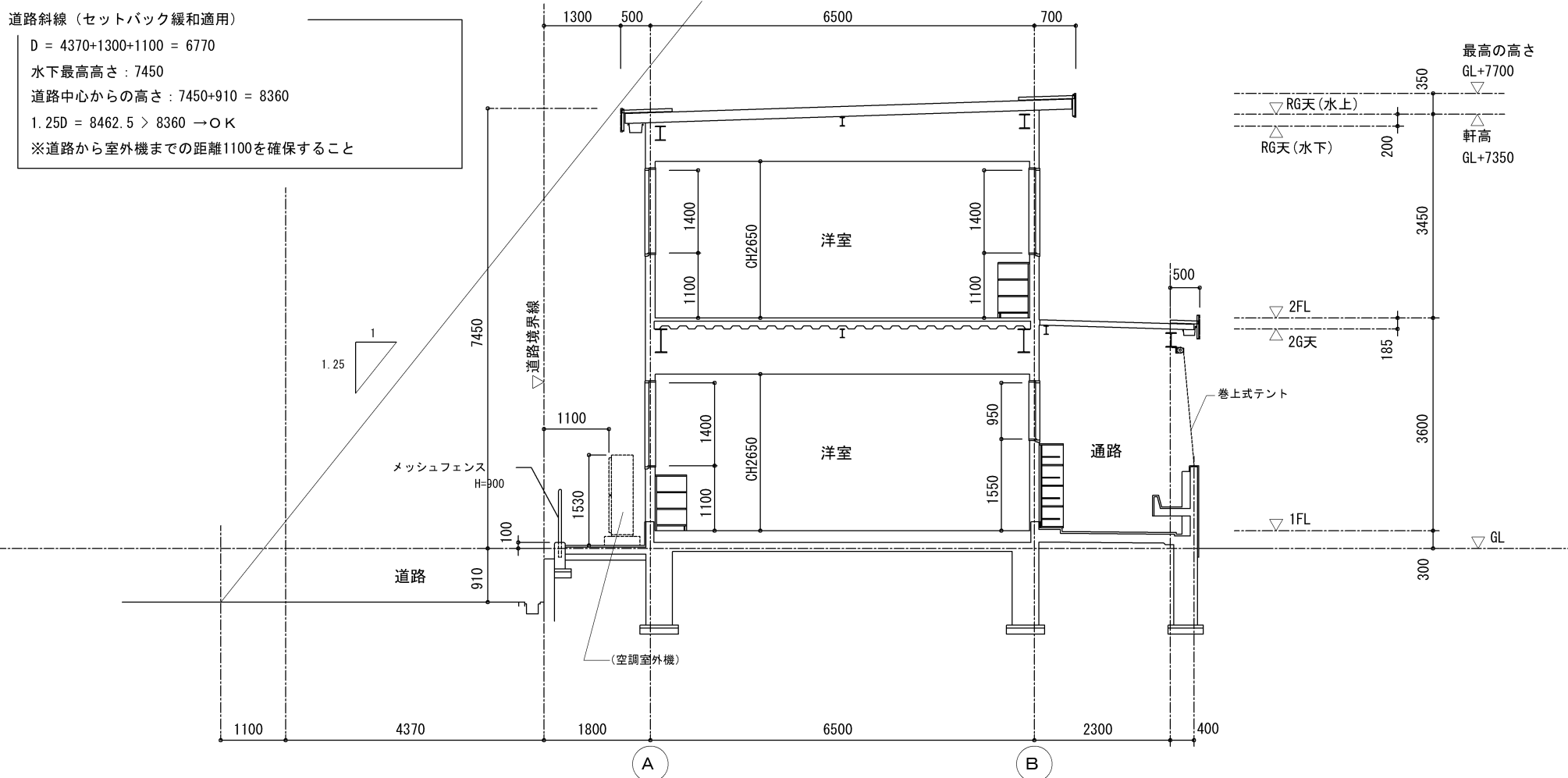


南立面図

凡例	
A	屋 根：カラーガルバリウム鋼板折板葺き t=0.8 H=160ハゼ
B	鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板 t=0.5加工 H=400
C	外 壁：窯業系サイディングt=16 横張り(塗装品)金具留め工法
D	堅 樋：カラーV P φ75 SUS掘み金物φ1200内外
E	巾 木：モルタル金コテ仕上
F	腰 壁：モルタル金コテ仕上
G	鉄 部：D P 塗装
H	手 摺：ステンレス製2段手摺
I	底 ：アルミ製軽量底 W=1200 D=900

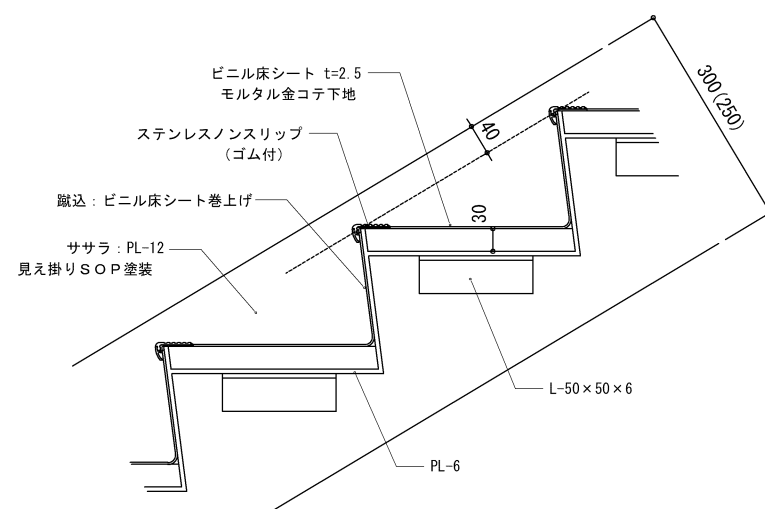


X-X断面図

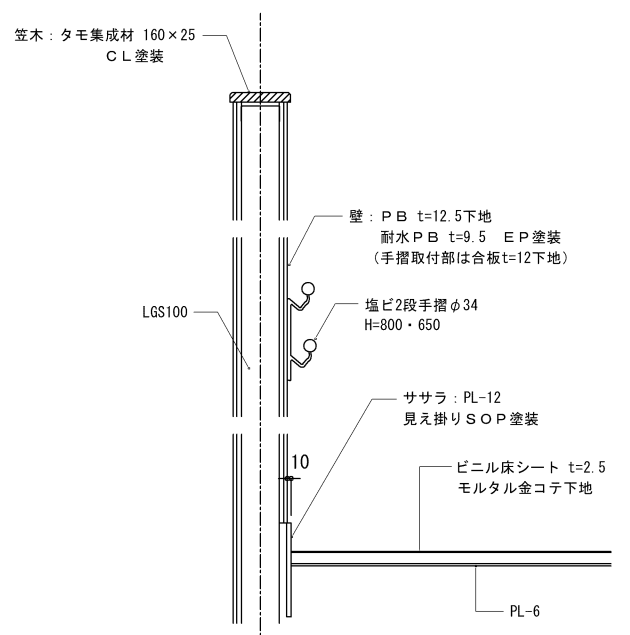


Y-Y断面図

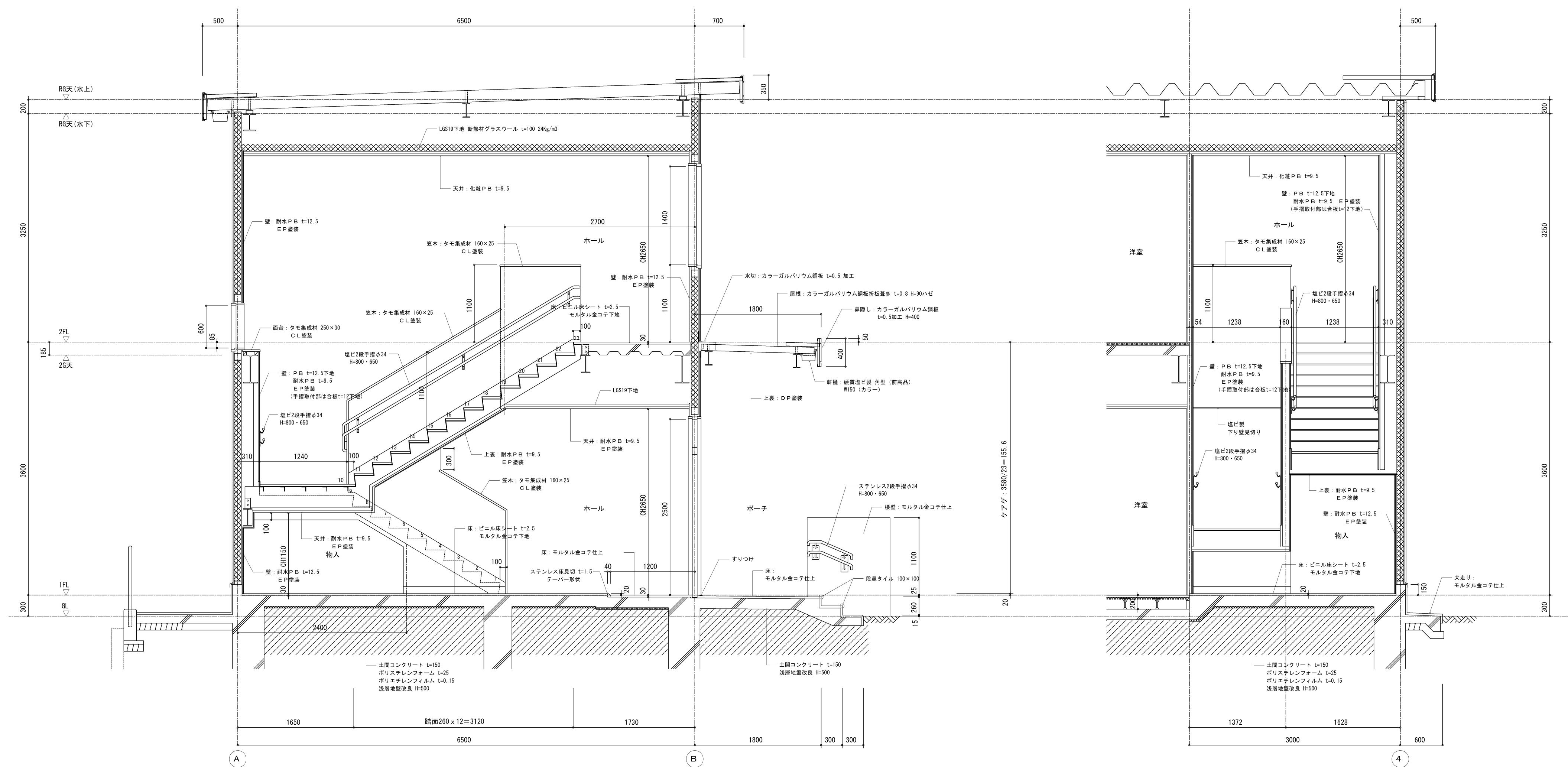
道路斜線(セッパック緩和適用)
D = 4370+1300+1100 = 6770
水下最高高さ: 7450
道路中心からの高さ: 7450+910 = 8360
1.250 = 8462.5 > 8360 →OK
※道路から室外機までの距離1100を確保すること

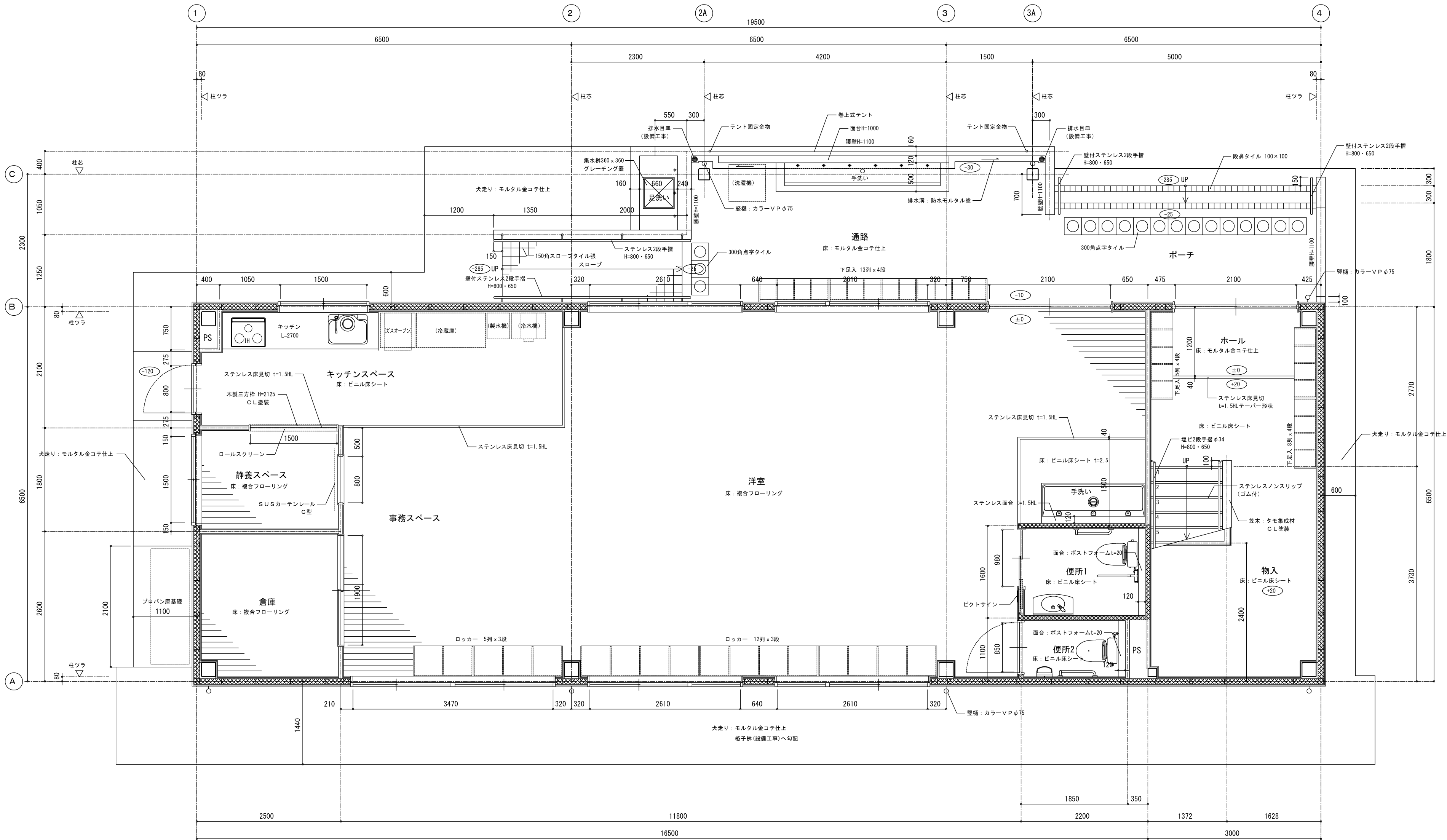


階段部分詳細図 S=1/10

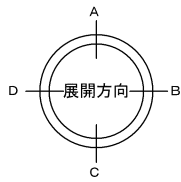


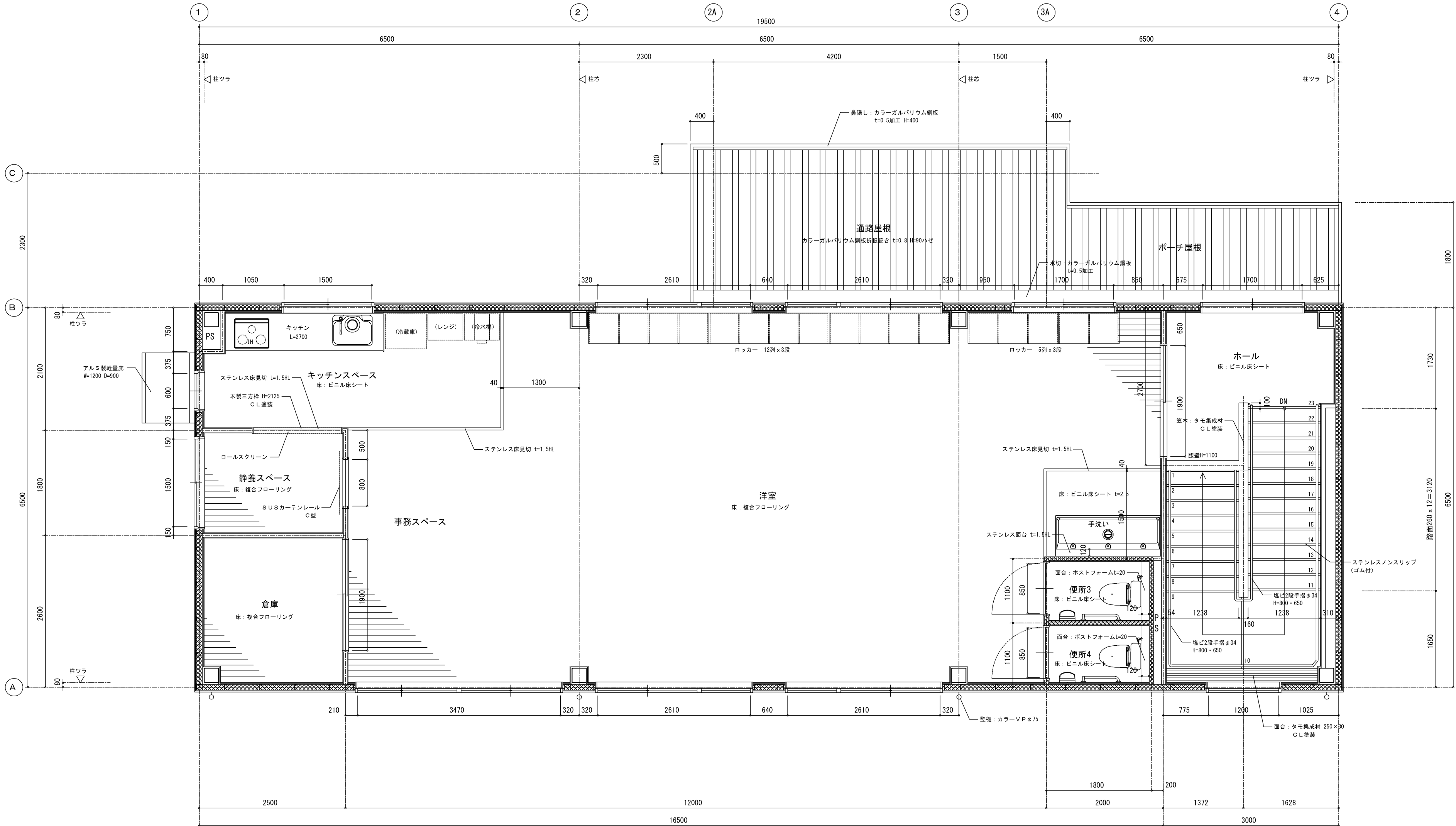
階段手摺壁詳細図 S=1/20



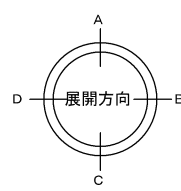


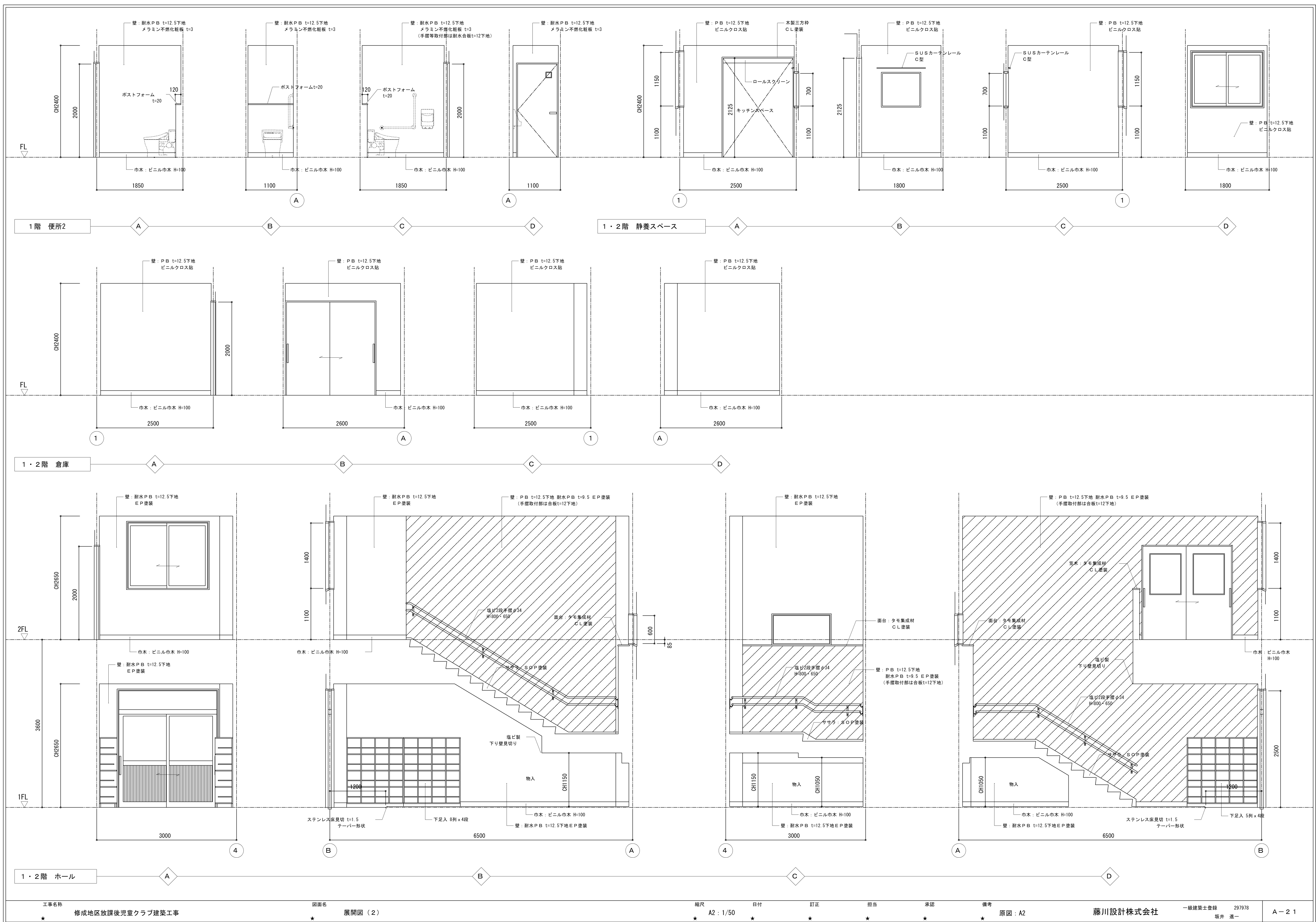
※外壁・柱面の下地はLGSI9
※（ ）の備品は別途工事
※外壁面：グラスウール24Kt=100封入
※内装内壁：グラスウール24Kt=50封入
※階段手摺取付壁面：耐水合板 t=12の上耐水PB t=9.5
※○：FLからの床仕上げレベルを示す

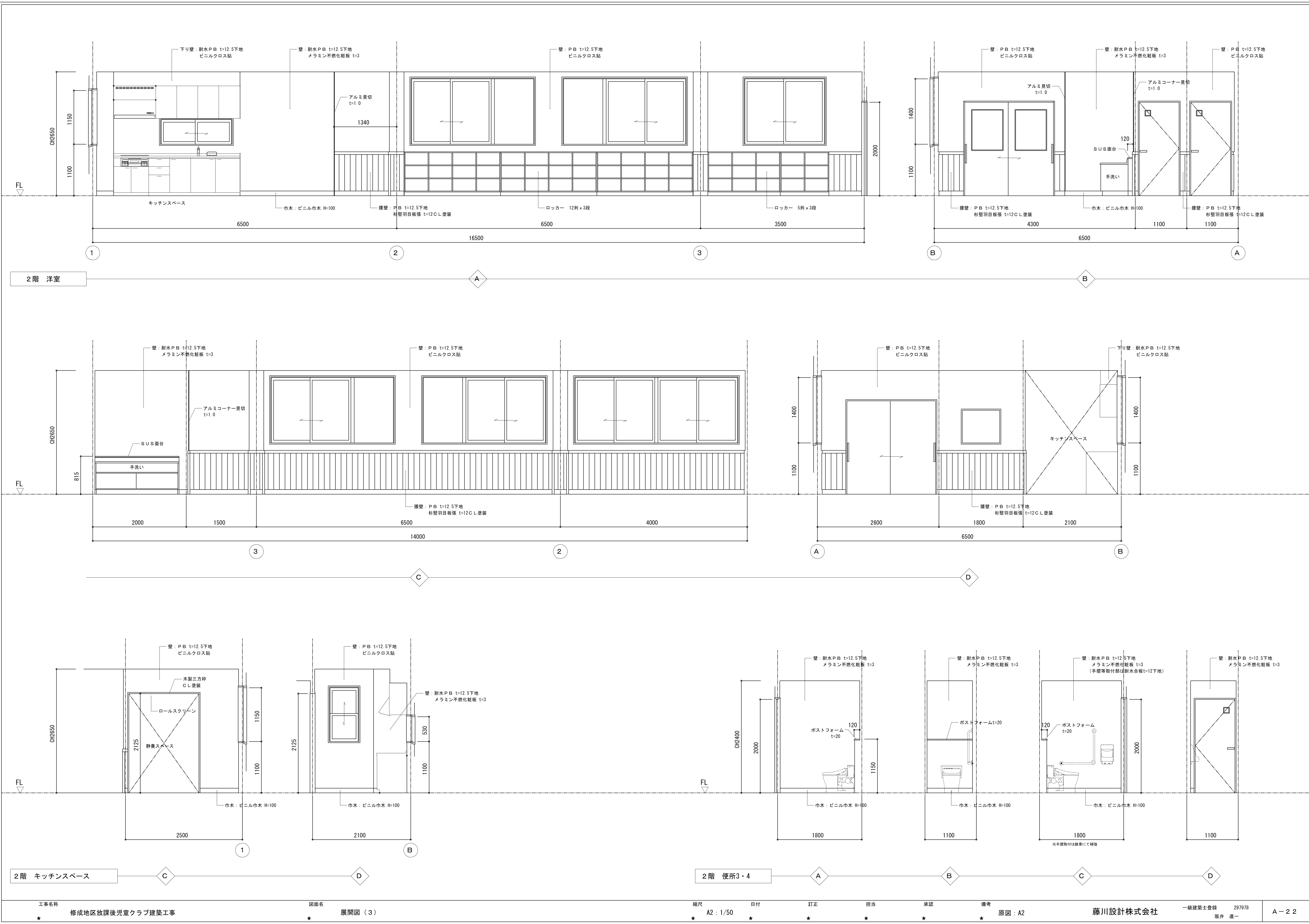


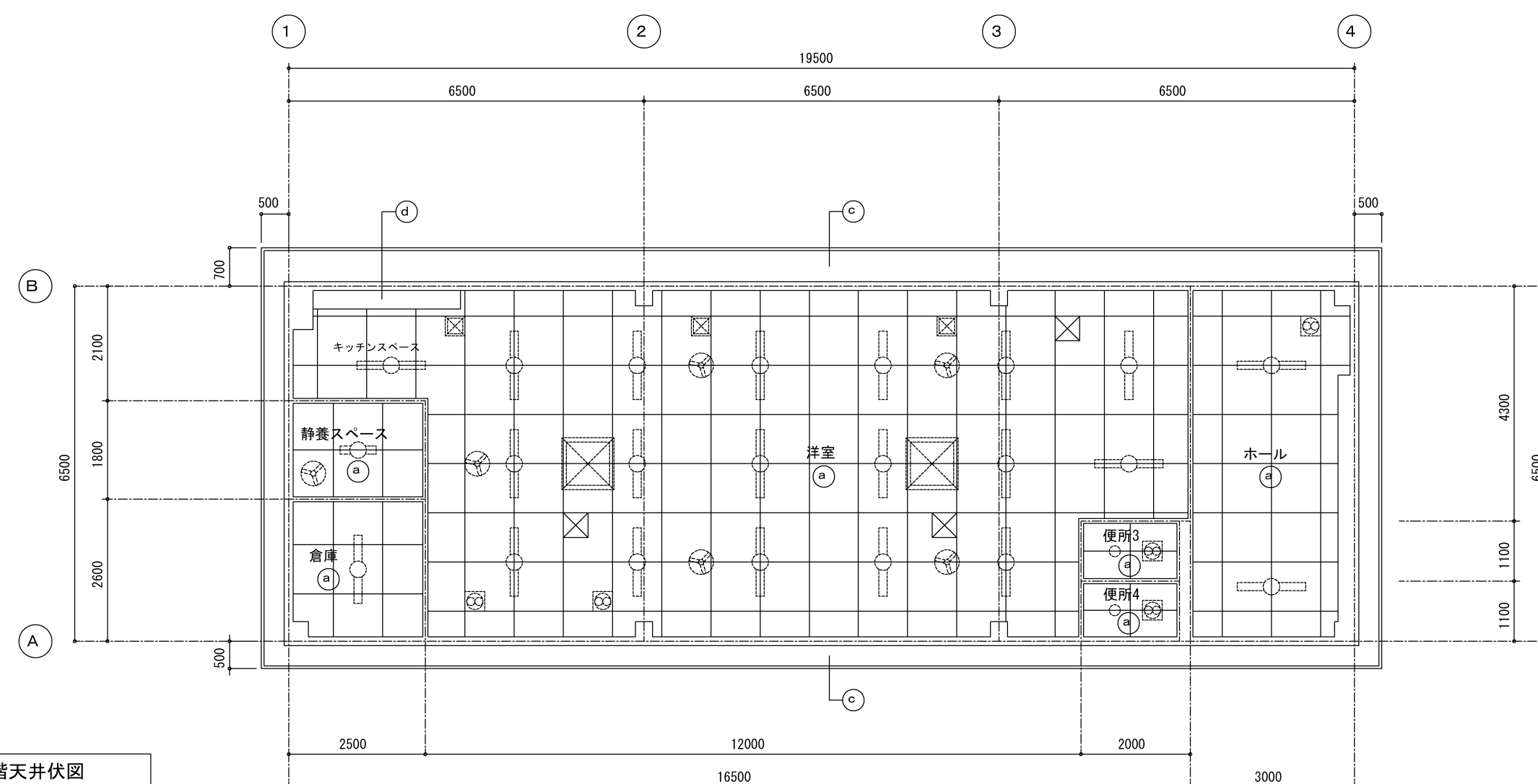


※外壁・柱面の下地はLGSI9
※() の備品は別途工事
※外壁面：ガラスウール24K t=100封入
※内装面：ガラスウール24K t=50封入
※階段手摺取付壁面：耐水合板 t=12の上耐水P.B. t=9.5



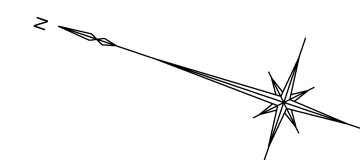
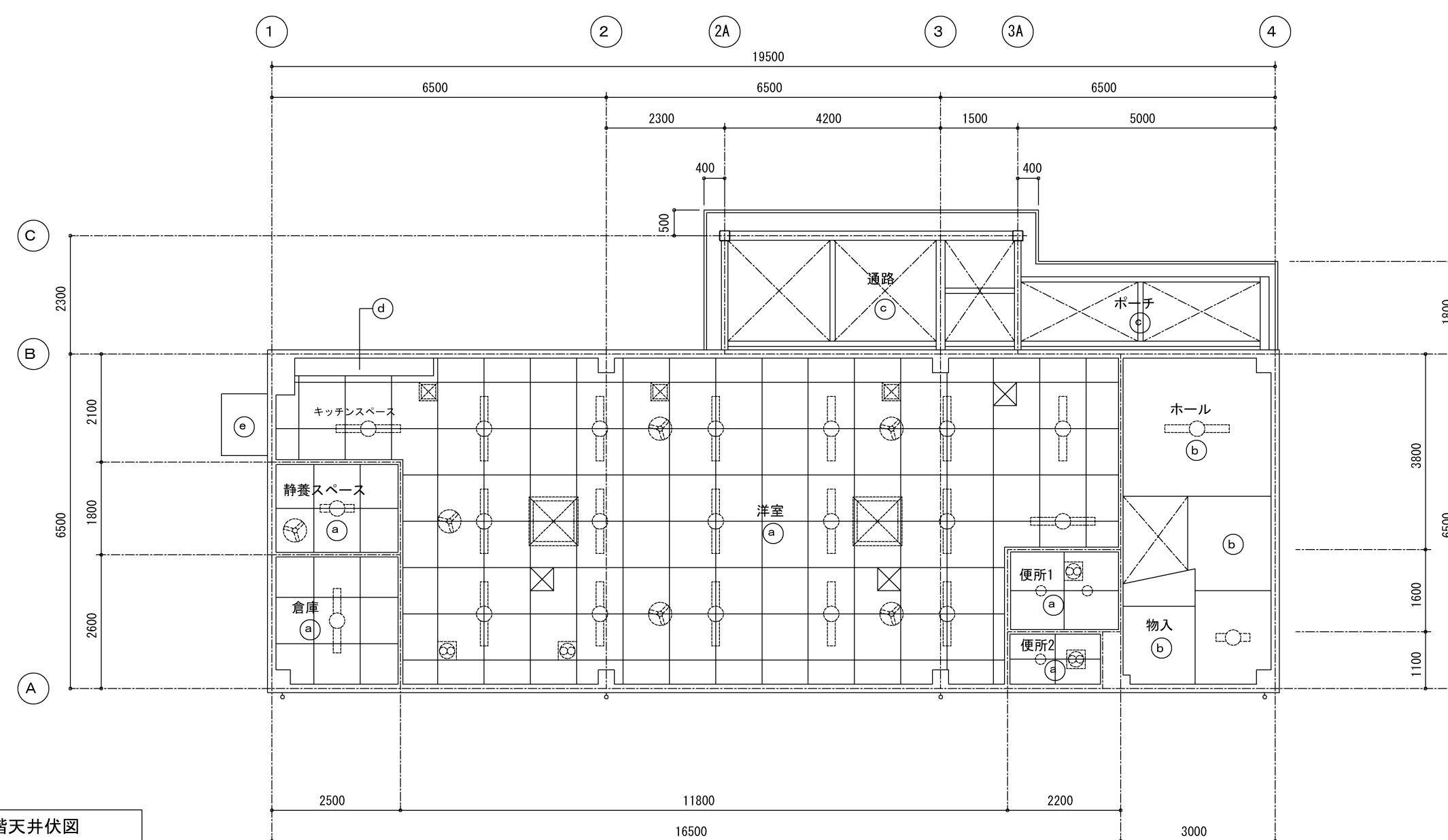


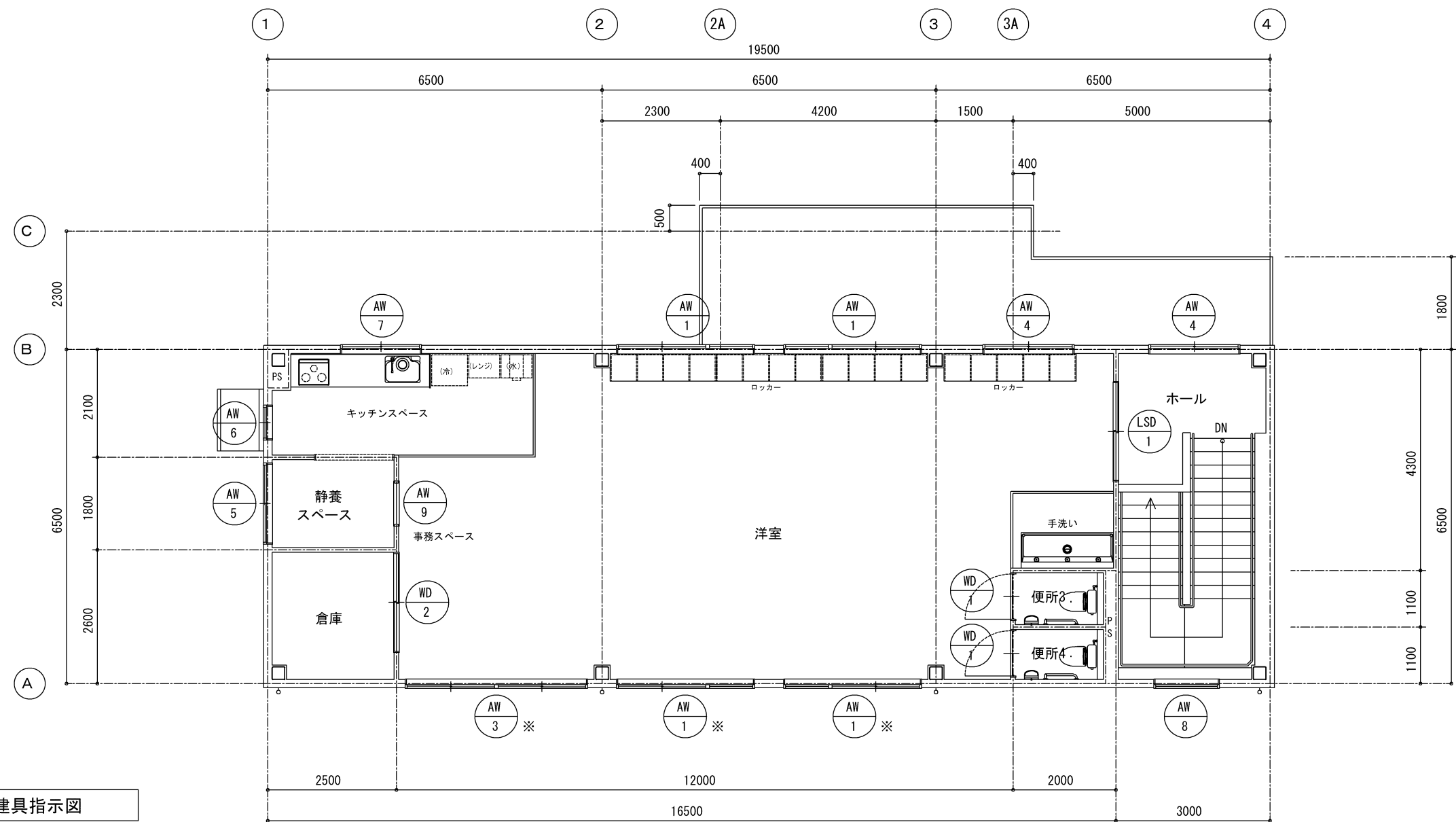




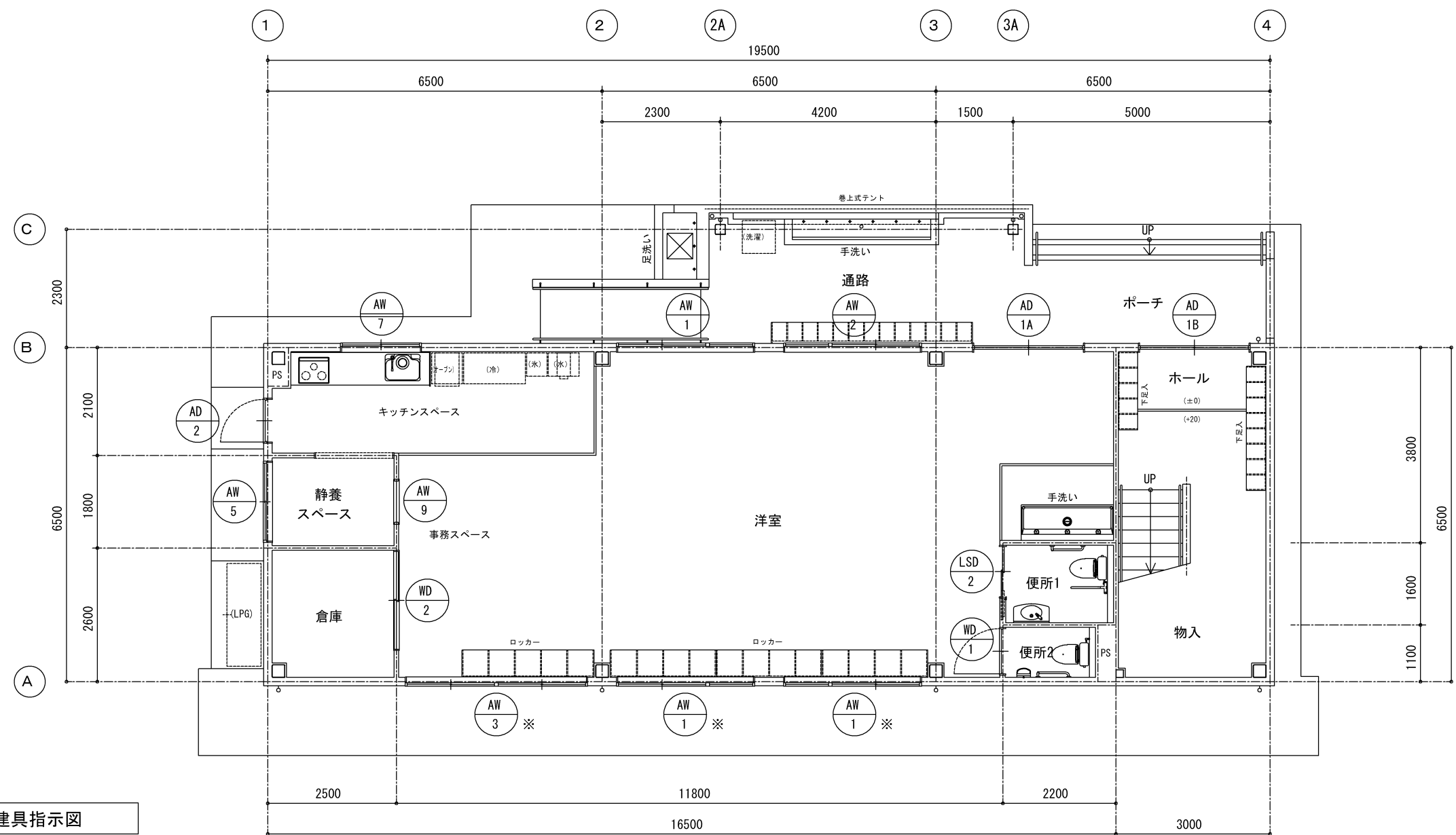
凡例

☐	化粧 P B t=9.5
☐	耐水 P B t=9.5 E P 塗装
☐	折板上裏・鉄骨 D P 塗装
☐	レンジフード・吊戸棚
☐	アルミ製軽量庇 W=1200 D=900
☐	天井点検口 (アルミ製450×450) 取付位置は打合せによる

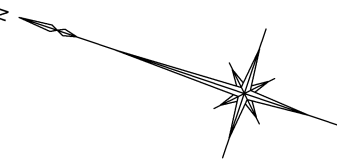




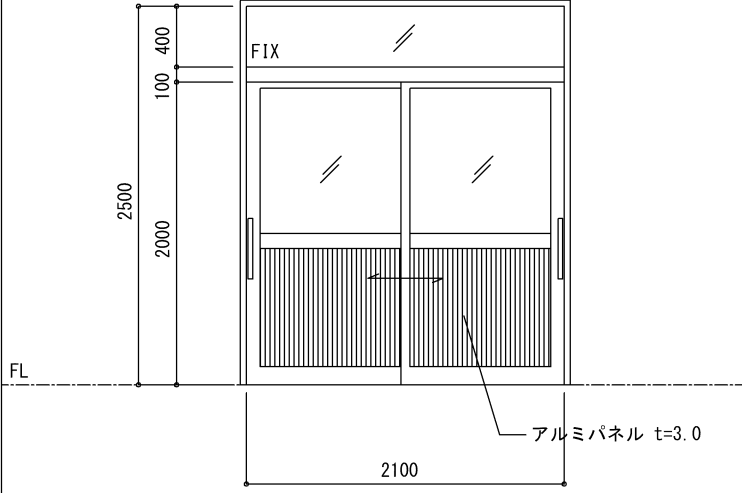
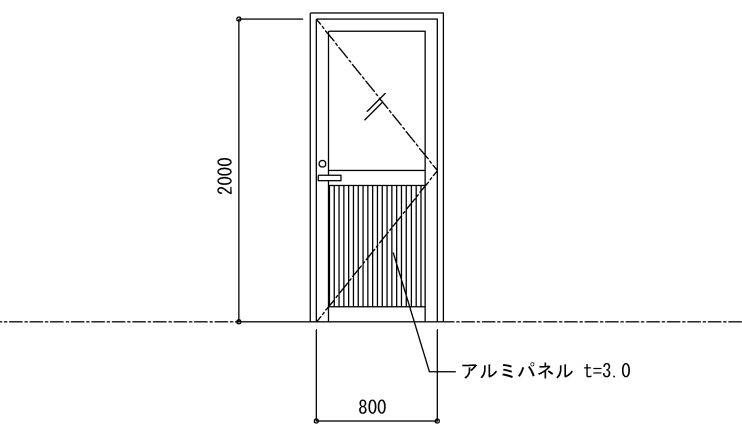
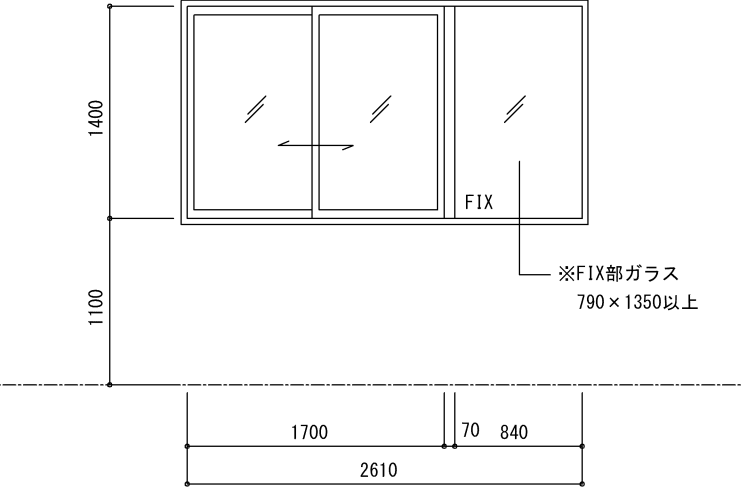
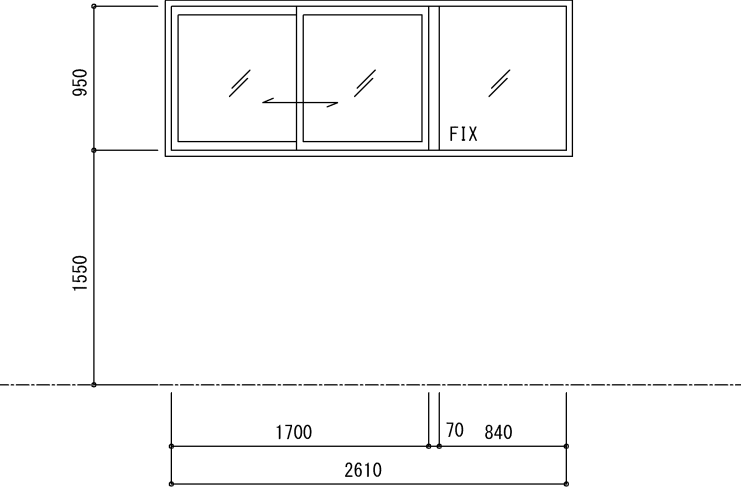
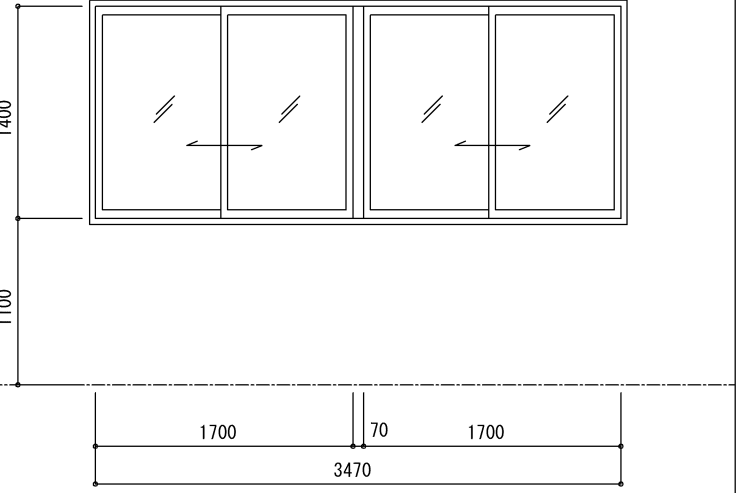
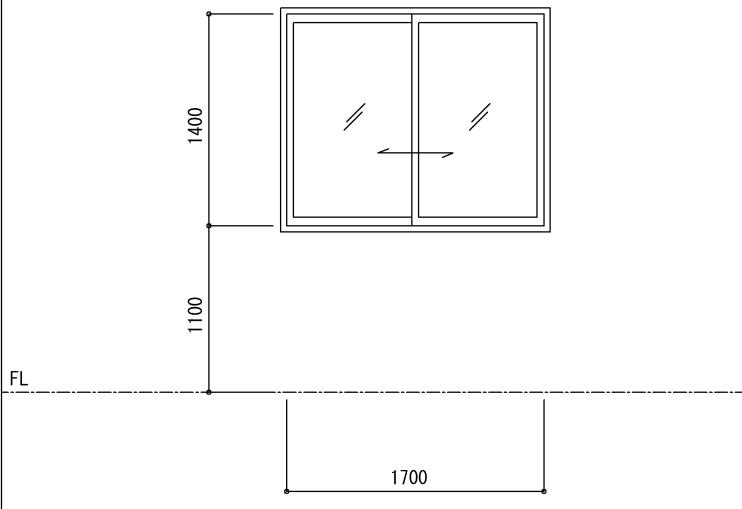
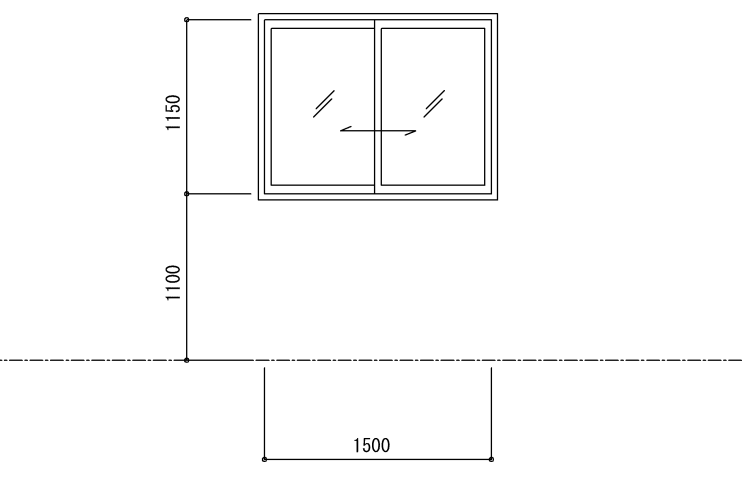
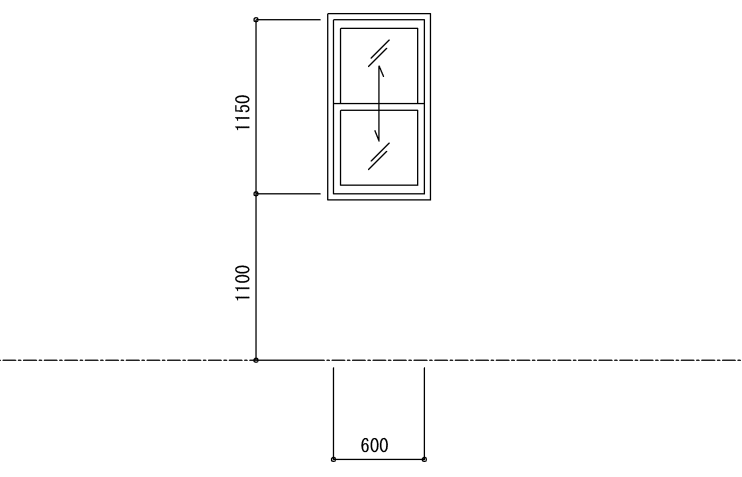
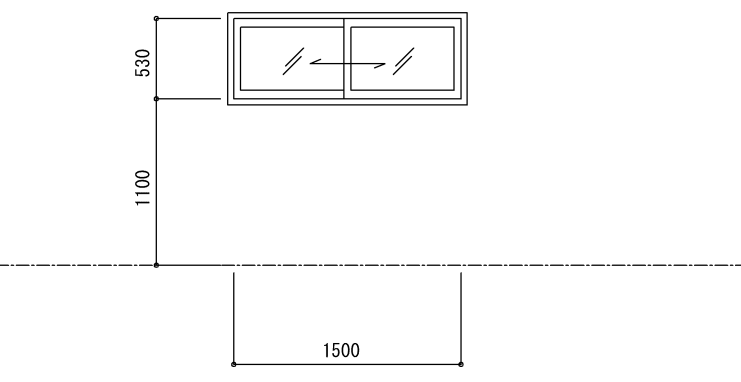
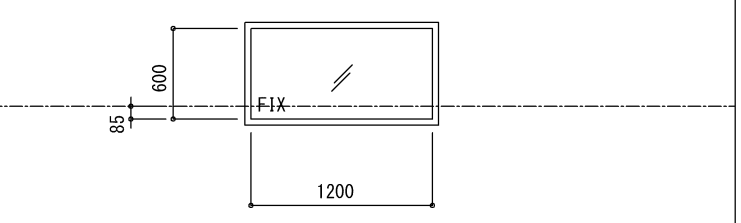
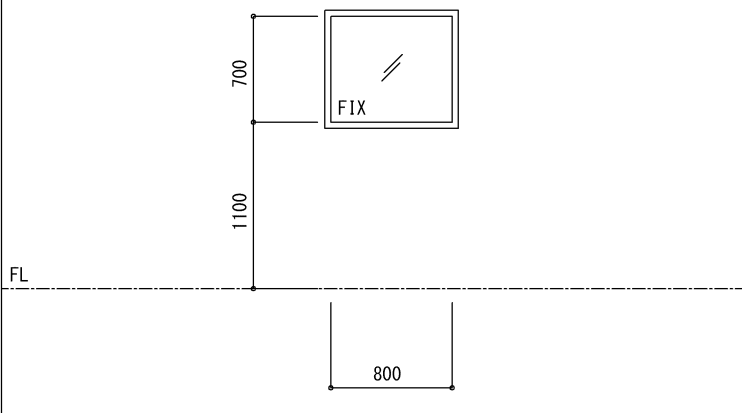
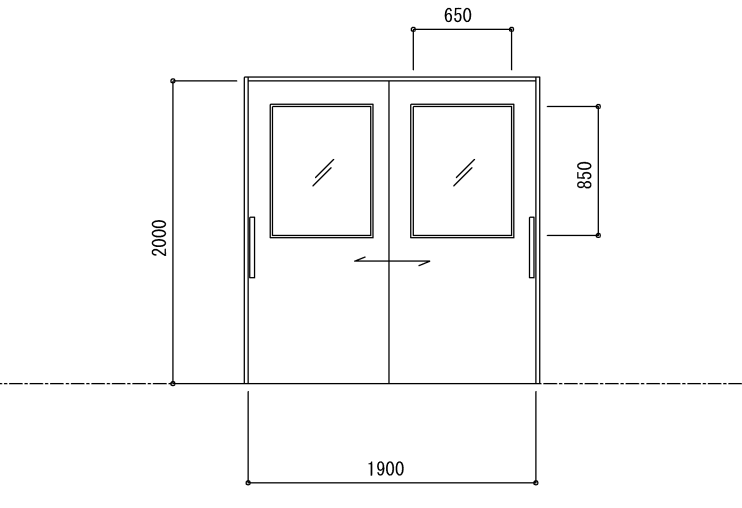
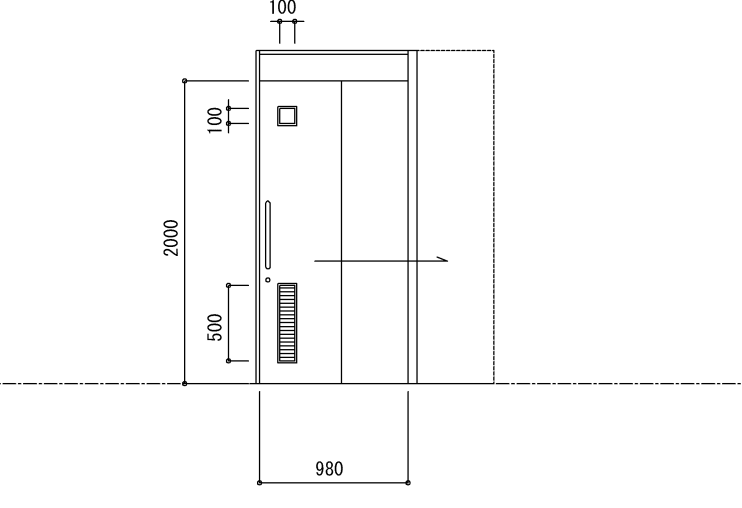
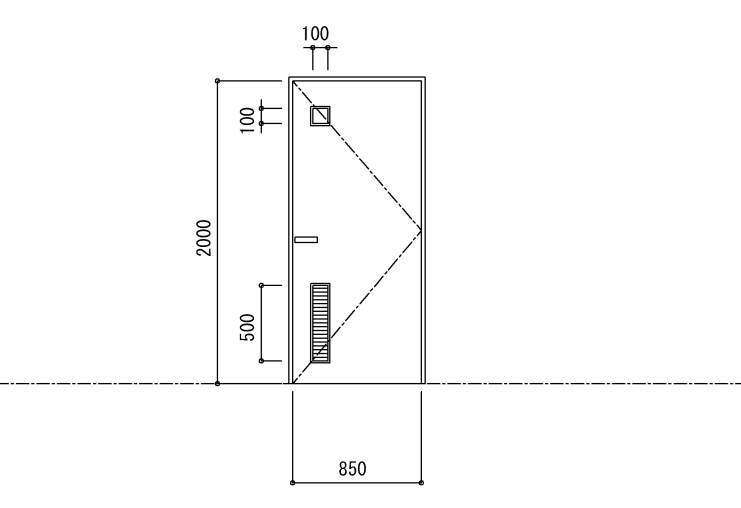
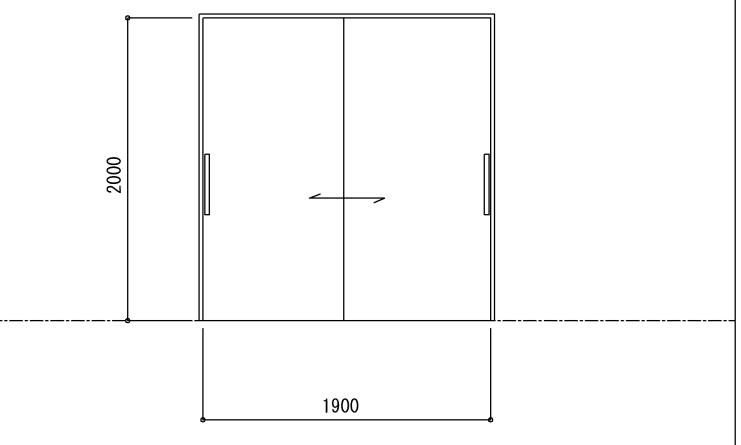
2階建具指示図



1階建具指示図

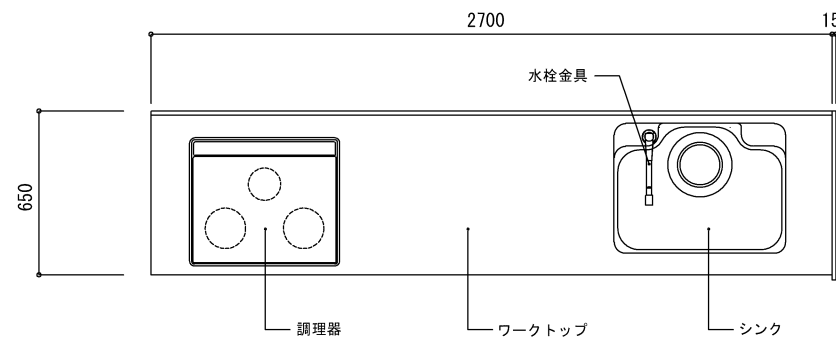


※：消防開口を示す

符号・数量	AD-1A: 1階 洋室 B: 1階 ホール	A:1 B:1	AD-21階 キッチンスペース	1	AW-11階・2階 洋室	7	AW-21階 洋室	1	AW-31階・2階 洋室	2
姿 図	※有効開口900以上 				※有効開口750以上 					
種別方式・見込	アルミ製ランマF I X窓付引違い戸70		アルミ製片開き戸70		アルミ製袖F I X窓引違い窓70		アルミ製袖F I X窓引違い窓70		アルミ製引違い窓（連窓）70	
硝 子	強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼	
仕 上	アルミカラー		アルミカラー		アルミカラー		アルミカラー		アルミカラー	
金 物	ステンレス引棒 L=400 シリンダー錠（内部サムターン） ステンレスフラットレール アルミパネル t=3.0		レバーハンドル シリンダー錠（内部サムターン） ドアチェック ステンレス丁番 アルミパネル t=3.0		クレセント ステンレス網戸		クレセント ステンレス網戸		クレセント ステンレス網戸	
備 考	内外アルミ額縁 A:横型ブラインド 標準金物一式		アルミ額縁 下枠ステンレス 標準金物一式		アルミ額縁 横型ブラインド 標準金物一式		アルミ額縁 横型ブラインド 標準金物一式		アルミ額縁 横型ブラインド 標準金物一式	
符号・数量	AW-42階 洋室・ホール	2	AW-51階・2階 静養スペース	2	AW-62階 キッチンスペース	1	AW-71階・2階 キッチンスペース	2	AW-8階段室	1
姿 図										
種別方式・見込	アルミ製引違い窓70		アルミ製引違い窓70		アルミ製上げ下げ窓70		アルミ製引違い窓70		アルミ製F I X窓70	
硝 子	強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		強化ガラス5 飛散防止フィルム貼（透明）		強化ガラス5 飛散防止フィルム貼（透明）	
仕 上	アルミカラー		アルミカラー		アルミカラー		アルミカラー		アルミカラー	
金 物	クレセント ステンレス網戸		クレセント ステンレス網戸		クレセント ステンレス網戸		クレセント ステンレス網戸			
備 考	アルミ額縁 横型ブラインド 標準金物一式		アルミ額縁 横型ブラインド 標準金物一式		アルミ額縁 横型ブラインド 標準金物一式		アルミ額縁 標準金物一式		アルミ額縁 標準金物一式	
符号・数量	AW-91階・2階 静養スペース	2	LS D-12階 ホール	1	LS D-21階 便所1	1	WD-11階 便所2・2階 便所3・4	3	WD-21階・2階 倉庫	2
姿 図			※有効開口800以上 		※有効開口800以上 		※有効開口800以上 			
種別方式・見込	アルミ製F I X窓70		軽量鋼製引違い戸 枠 110 扉 40		軽量鋼製2連引込み戸 枠 135 扉 40		木製片開き戸36		木製引違い戸36	
硝 子	強化ガラス5 飛散防止フィルム貼（透明）		強化ガラス5（透明） 飛散防止フィルム貼		型板ガラス4（カスミ）		型板ガラス4（カスミ）			
仕 上	アルミカラー		枠 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 扉 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 芯材ベーパーコア		枠 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 扉 亜鉛メッキ鋼板（焼付塗装） 芯材ベーパーコア		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ	
金 物			ステンレス引棒 シリンダー錠（内部サムターン）		ステンレス引棒 表示錠（非常開錠装置付）		レバーハンドル 表示錠（非常開錠装置付） ドアチェック ステンレス丁番		ステンレス引棒 シリンダー錠（内部サムターン）	
備 考	内外アルミ額縁 標準金物一式		ステンレス沓摺 標準金物一式		ステンレス沓摺 アルミガラリ 標準金物一式		ステンレス沓摺 木製ガラリ 標準金物一式		ステンレスレール 標準金物一式	
※飛散防止フィルムはJIS A 5759の規定による										
工事名称	図面名	縮尺	日付	訂正	担当	承認	備考	原図：A2		
★ 修成地区放課後児童クラブ建築工事	★ 建具表	★ A2：1/50	★	★	★	★	★	★ 藤川設計株式会社	一級建築士登録 297978 坂井 進一	A-25

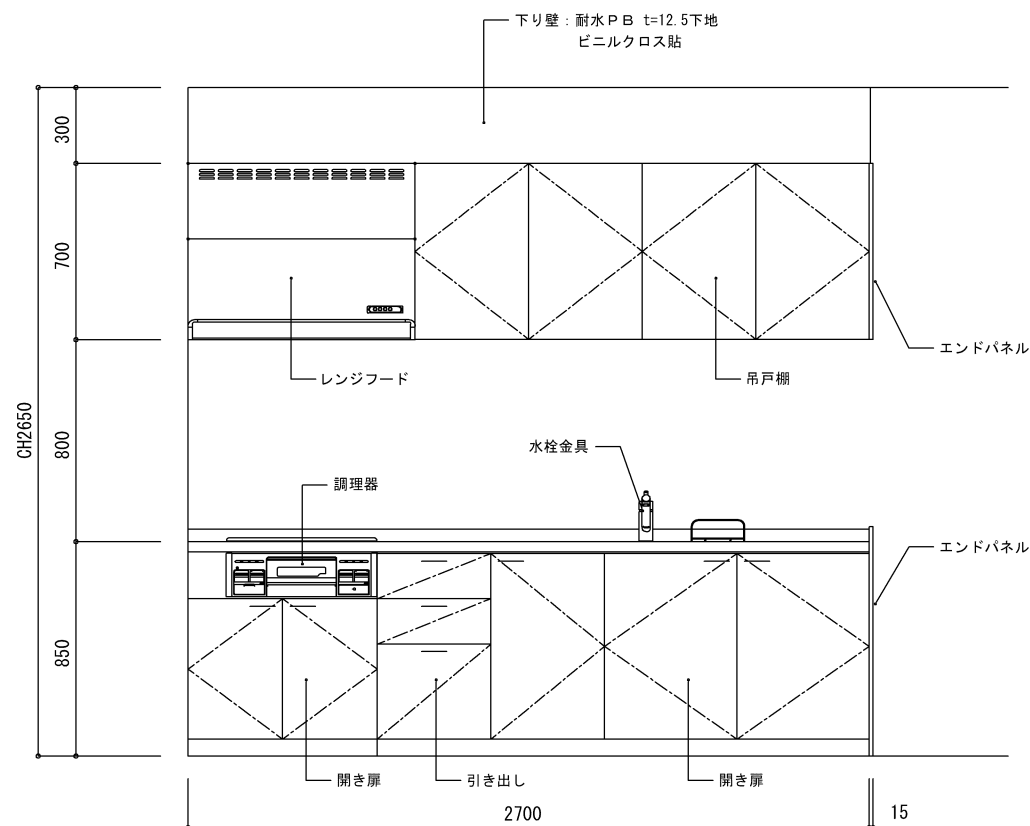
キッチン

1/30

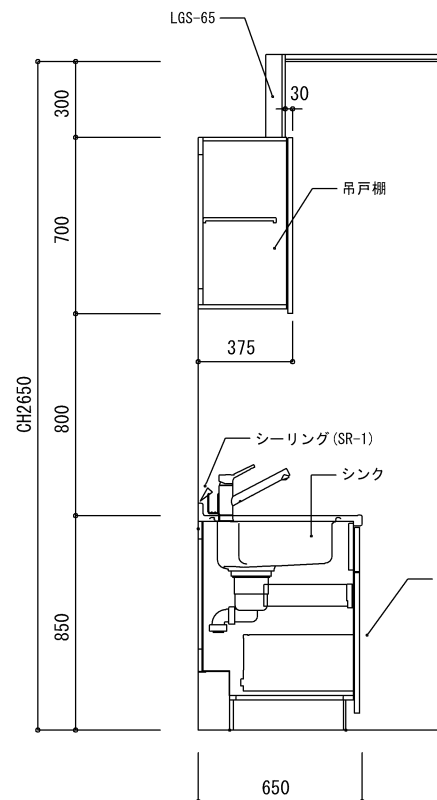


平面图 1/30

参考品番	LIXIL シェアS同等品
原デザイン	単色・グループ1 ハンドル取手
ワークトップ	ステンレス/スמשレストトエンボス
シンク	ステンレスシンク/ラウンド68シンク
水栓金具	シングルレバー水栓
調理器	2口IH+ラジエント・スタンダードタイプ
	無水両面焼きグリル
レンジフード	W=90cm/深型レンジフード シロコフファン
エンドパネル	フロアウォール



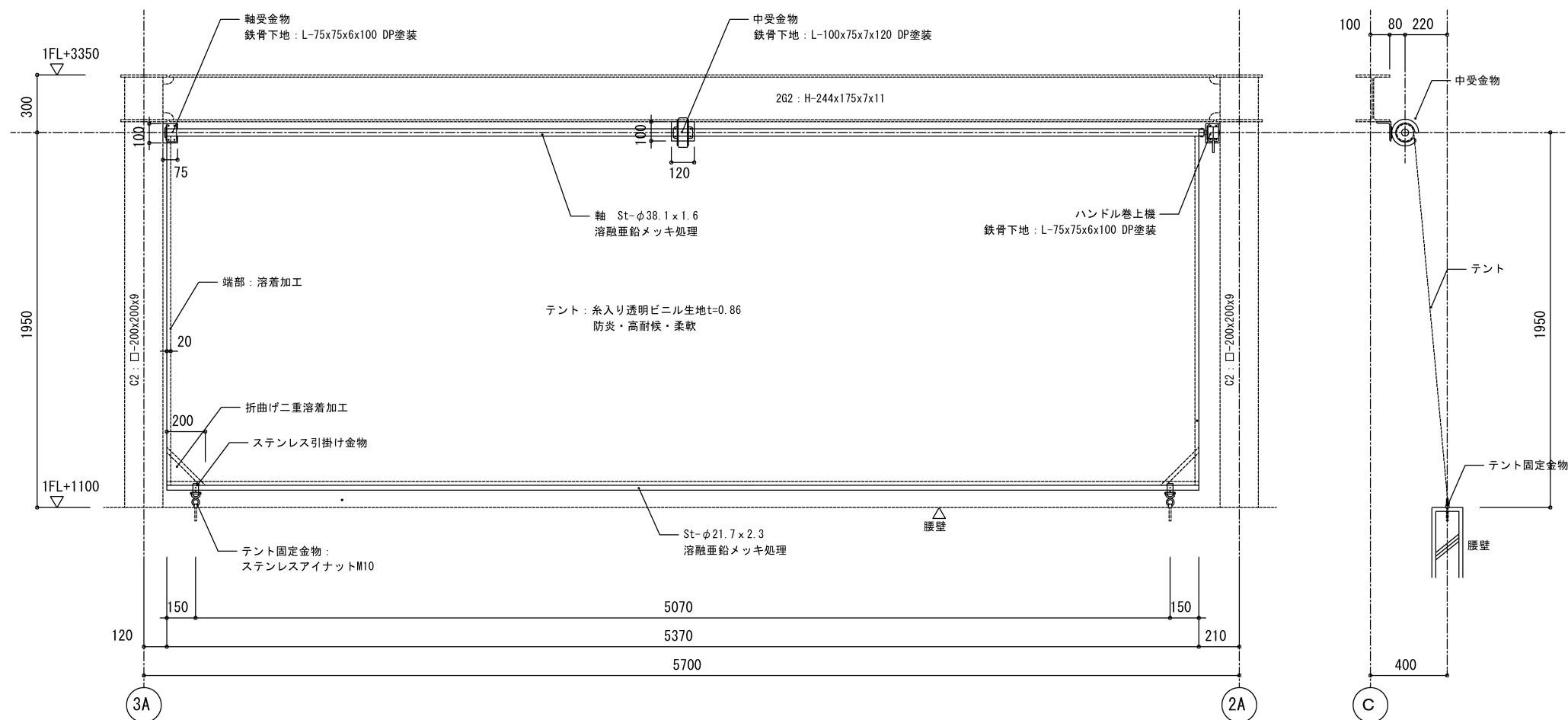
姿図 1/30



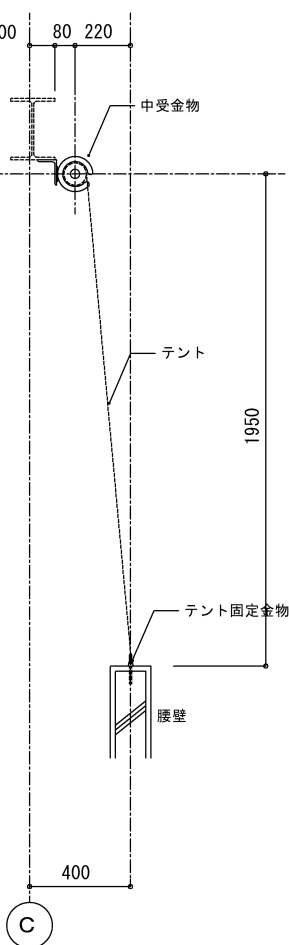
断面图 1/30

卷上式テント

1/30



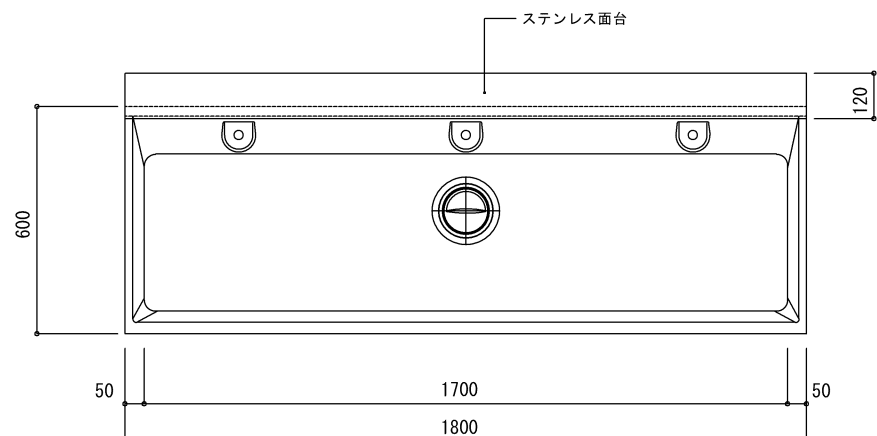
姿図 1/30



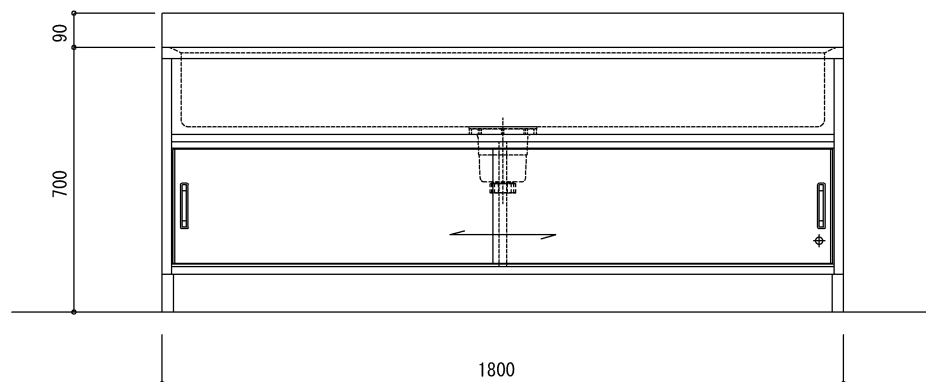
断面図 1/30

手洗い

1/20

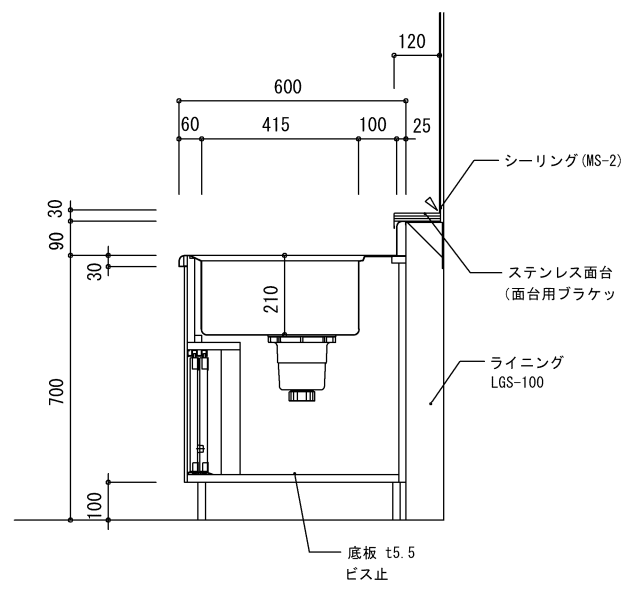


平面図 1/20



姿図 1/20

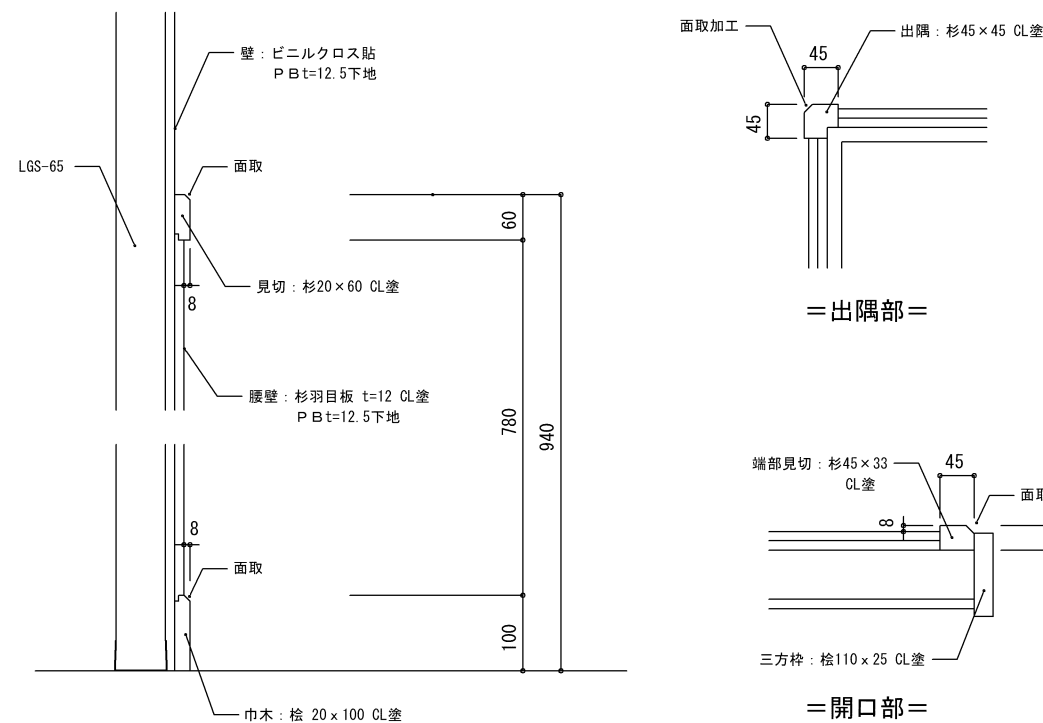
名 称	材 質・仕 様
流 し	SUS304 t1.0 (正面加工・全周スロープ加工) 大型排水トラップ(ミミカゴ付) YI-50X
外 装	ポリエステル樹脂板
内 装	耐摩擦低化化粧板
側板見付	硬質耐候性樹脂エッジ (ABS樹脂)
見 付	樹脂エッジ (ABS樹脂) t20 ポリエステル樹脂板 木口・樹脂エッジ (ABS樹脂)
引違戸	成形引手 (ABS樹脂) 一体成形ガイドレール (PP樹脂) 成形ソフト縦枠Ⅱ型 (ABS樹脂) 一体成形Vレール (ABS樹脂)
台 輪	t20 ポリエステル樹脂板 角部：セーフティカバー27L (ABS樹脂)
給水栓	(設備工事)



断面図 1/20

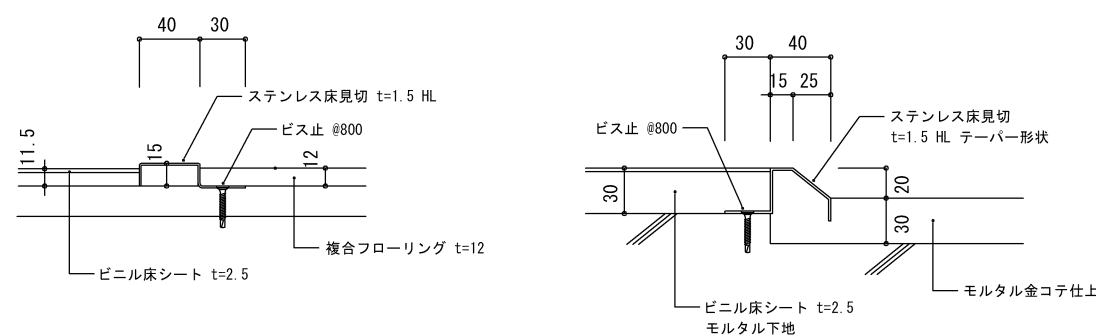
腰壁詳細図

1/10



ステンレス床見切

1/5



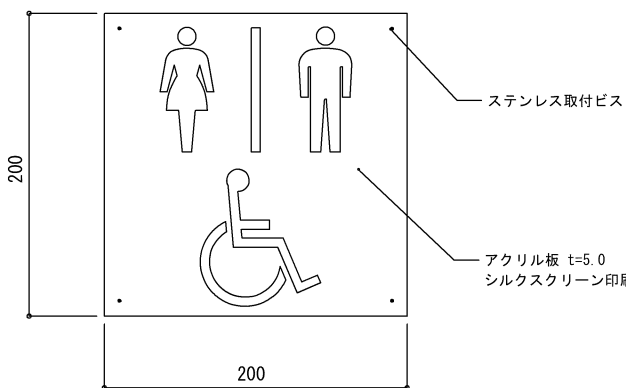
=洋室=

= 1 階ホール =

ピクトサイン

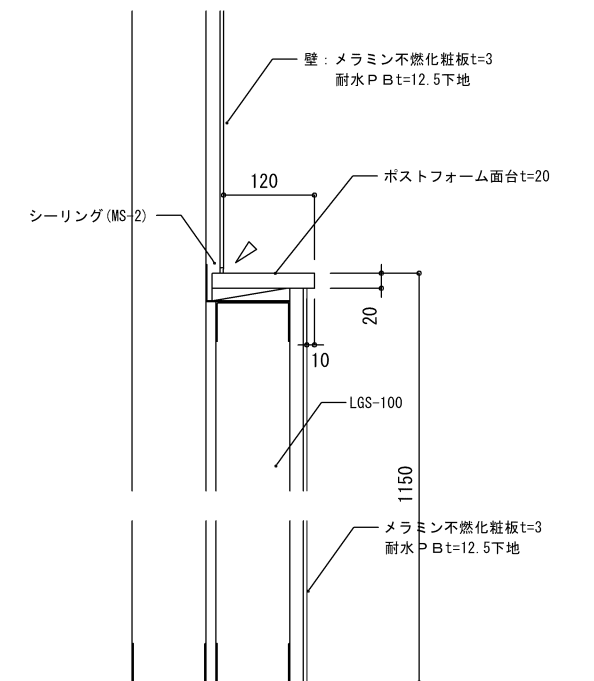
1/5

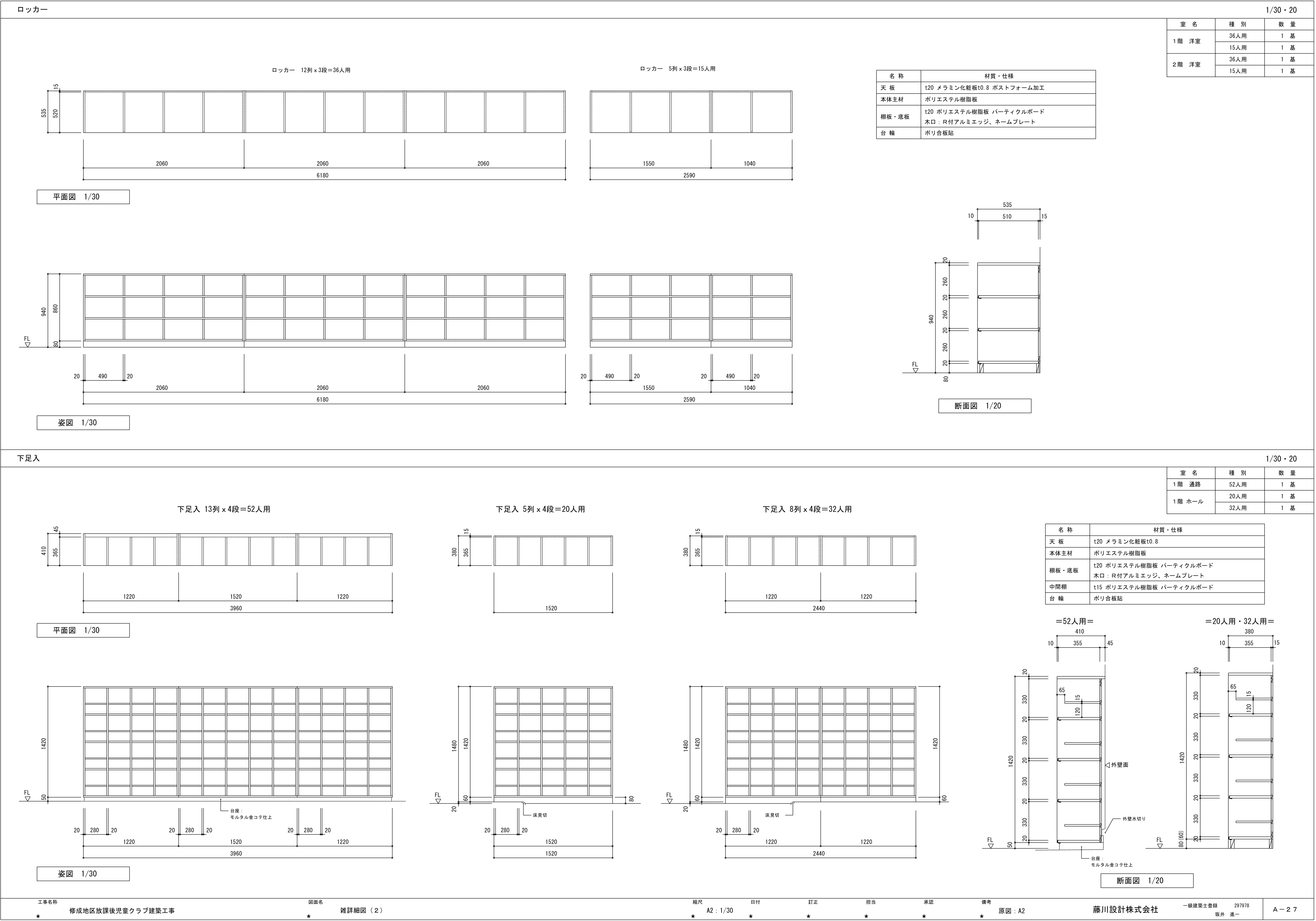
室 名	数 量
1階 便所 1	1 ヶ所

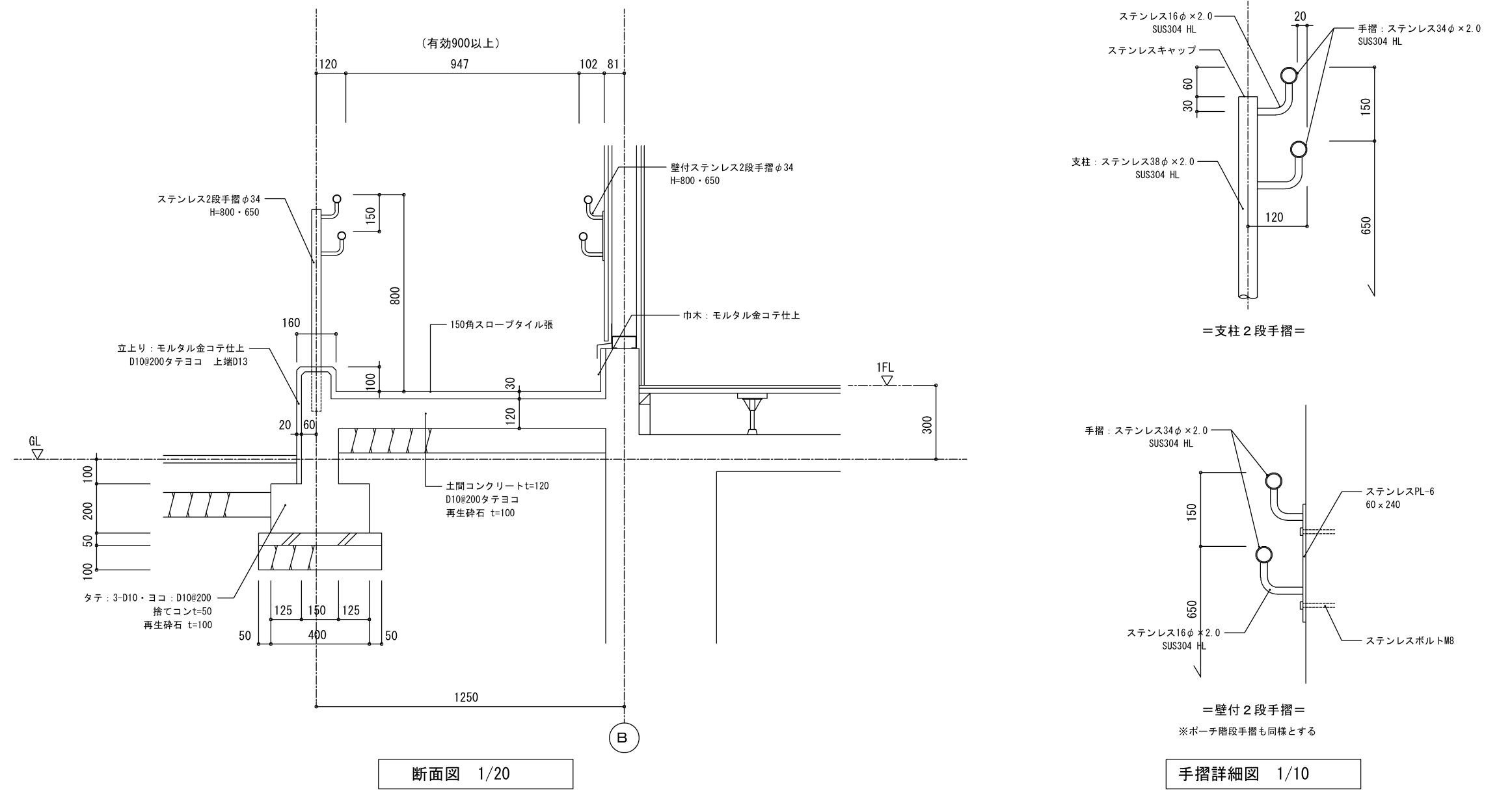
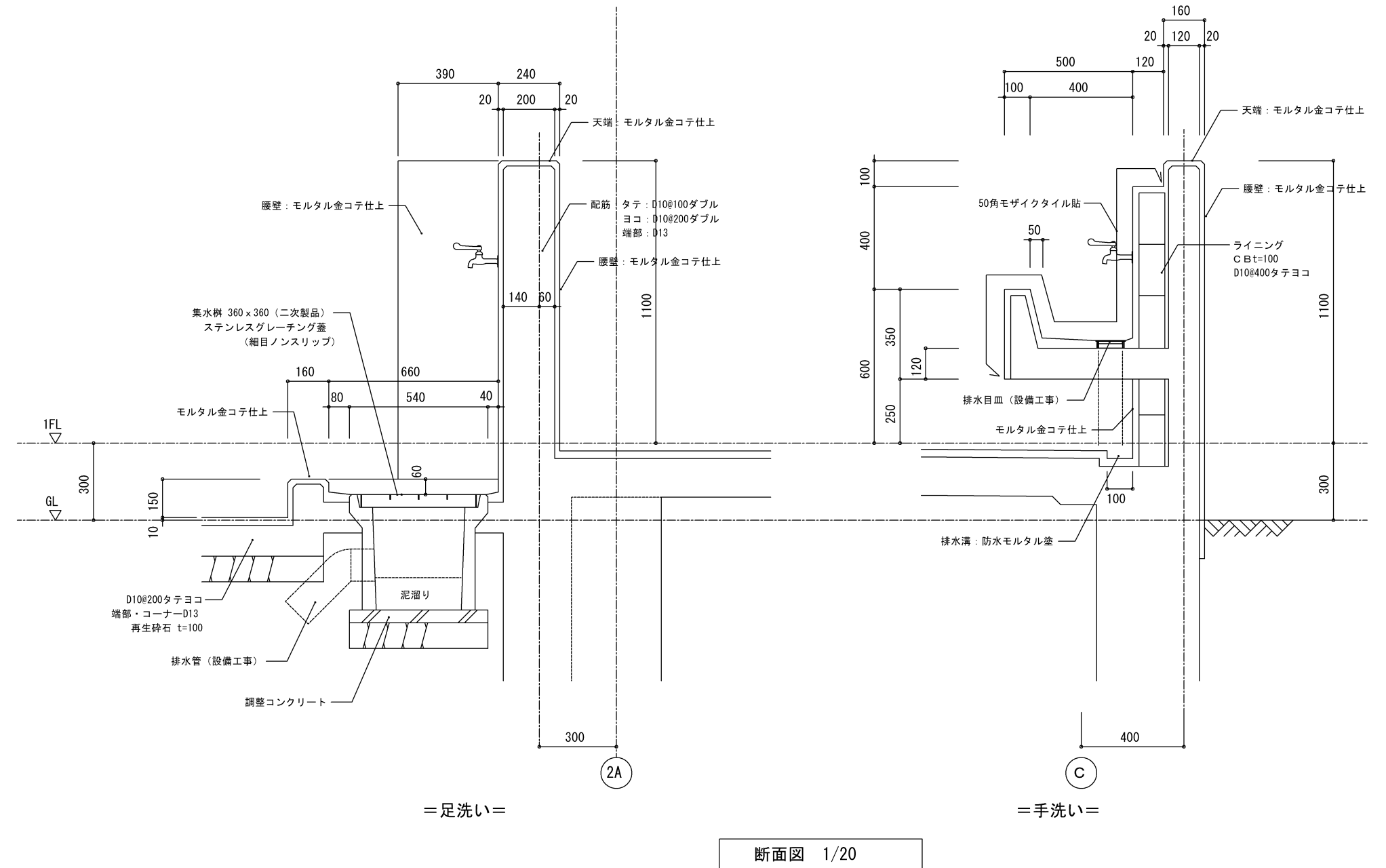


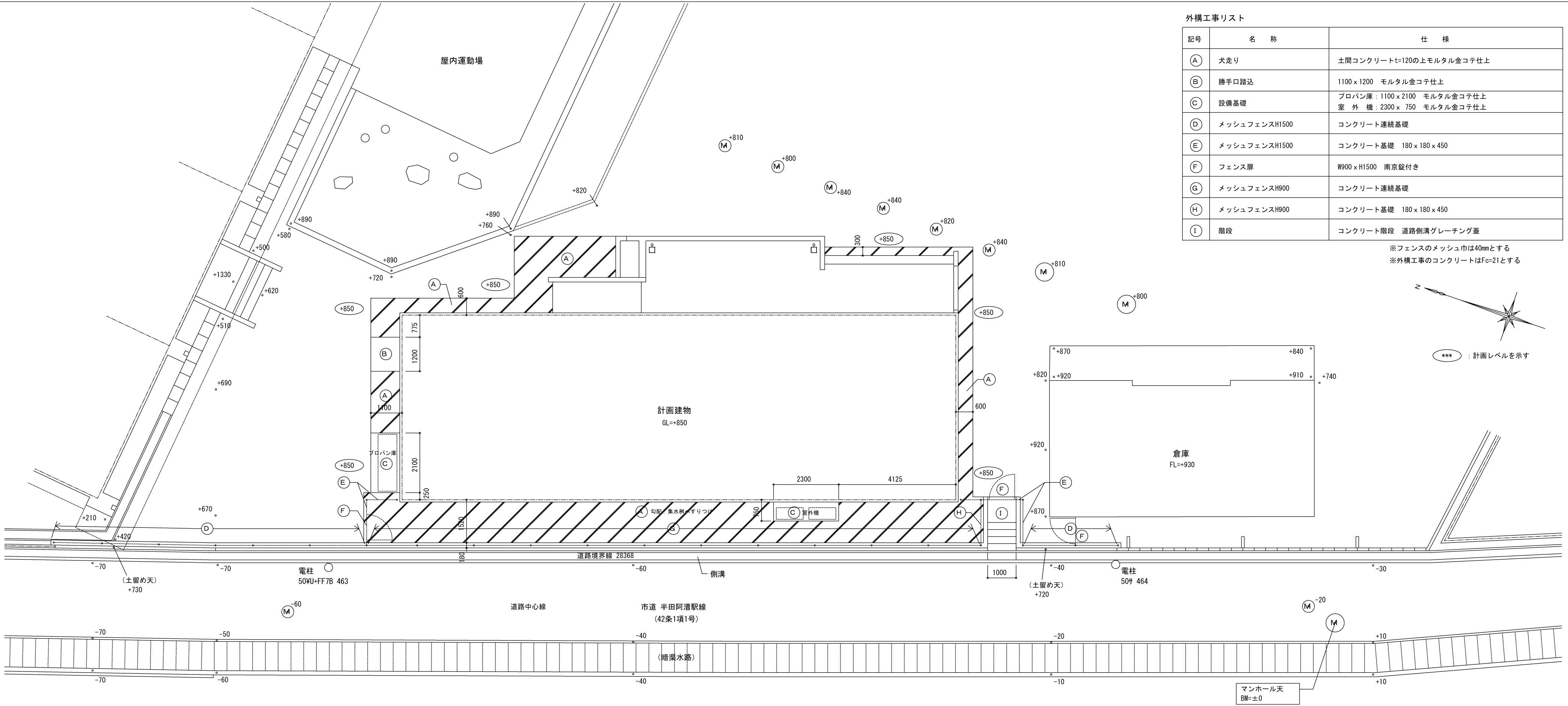
面台

1/10



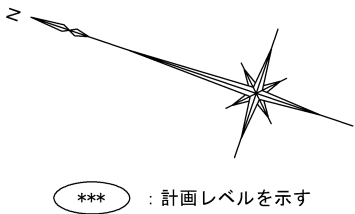






外構工事リスト		
記号	名 称	仕 様
(A)	犬走り	土間コンクリートt=120の上モルタル金コテ仕上
(B)	勝手口踏込	1100 x 1200 モルタル金コテ仕上
(C)	設備基礎	プロパン庫：1100 x 2100 モルタル金コテ仕上 室 外 機：2300 x 750 モルタル金コテ仕上
(D)	メッシュフェンスH1500	コンクリート連続基礎
(E)	メッシュフェンスH1500	コンクリート基礎 180 x 180 x 450
(F)	フェンス扉	W900 x H1500 南京錠付き
(G)	メッシュフェンスH900	コンクリート連続基礎
(H)	メッシュフェンスH900	コンクリート基礎 180 x 180 x 450
(I)	階段	コンクリート階段 道路側溝グレーチング蓋

※フェンスのメッシュ巾は40mmとする
※外構工事のコンクリートはF_c=21とする



(A) 犬走り1/20

(B) 勝手口踏込1/20

(C) 設備基礎1/20

(D)(G) フェンス連続基礎1/20

(I) 階段1/30・1/20

